

ヨンゼロヨンナナ

4047

作 ナナメダ 斜田 ショウタ 章大

# 4047

作 斜田 章大  
ななめだ しやうた

## 登場人物

一貴 1980年生まれ  
かずたか

遠子 1980年生まれ  
とおこ

薫子 1980年生まれ  
かおるこ

双葉 2004年生まれ。一貴、遠子の娘  
ふたば

未来 2036年生まれ。双葉の娘  
みらい

夜子 2066年生まれ。未来の娘  
よるこ

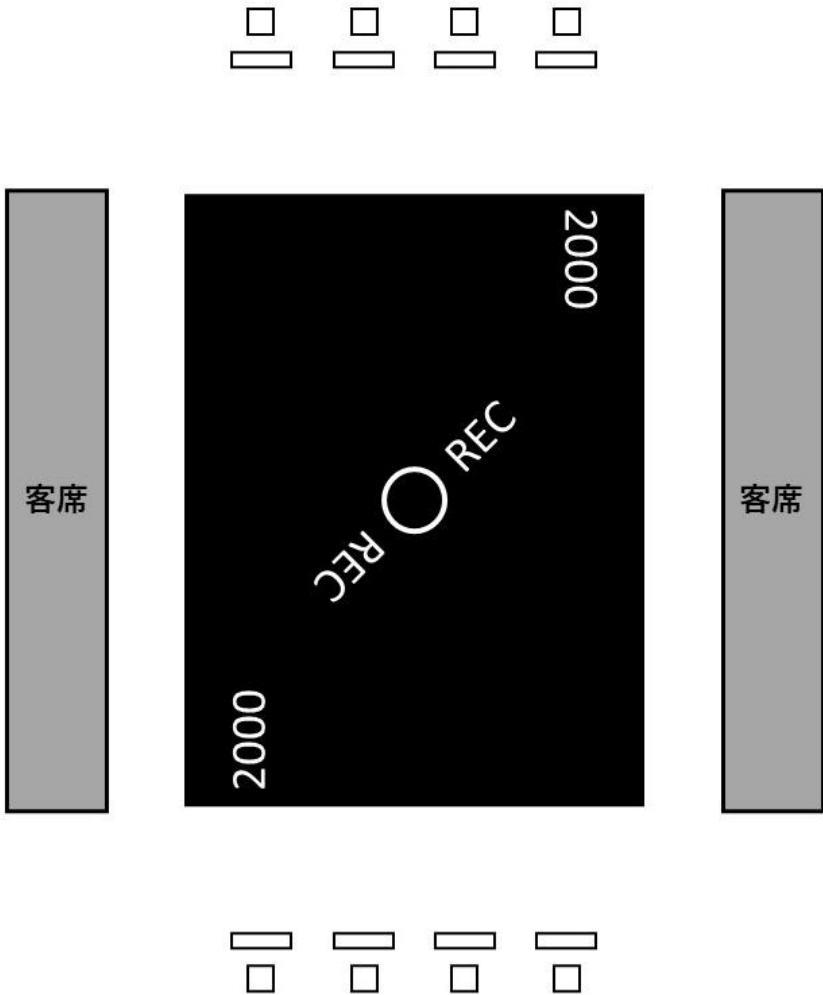
HAL ヒューマノイドフォン  
ハル

九重 2411年生まれ。夜子の子孫  
ここのえ

便宜上、戯曲の中で、舞台の使い方について多々記載がありますが、上演の際は演出家の判断で自由に変えていただいて問題ありません。

作中、「ツァラトウストラはかく語りき」のメロディーを歌うシーンがありますが、これリヒャルト・シュトラウスが1896年作曲した交響詩「ツァラトウストラはかく語りき」(ドイツ語 Also sprach Zarathustra) 導入部(日の出)の冒頭部分を指します。なお、この楽曲の著作権は既に切れています。

「よっ」と、自分を取り囲む円から外に出る遠子。  
舞台は漸く、漸く、幕を上げる。



想像力の翼を、無限に広げられるような、そんな舞台装置だといひ。  
例えば黒板はどうだろう？

貴方が受付を済ませて舞台へやって来ると、舞台の床は大きな大きな黒板であると分かる。中心部に長方形(4…3)の形でだだっ広い空間があり、その舞台を挟むように客席が置かれている。

舞台床面には二か所、チョークで「2000」と書かれており、真ん中には、鏡合わせのように「REC」と書かれている。(左図参照)

貴方はどこの席が見やすいだろうかと考えながら席を決める。

長方形の短辺の両端には、4つずつ木製の枱(横3尺×高さ1間程度)。その奥には椅子が置かれ、八人の俳優が座っている。

枱越しに見える彼らは、まるで画面の中の人物かのように見える。

あるいは画面越しに舞台を覗き見ている様にも見える。

――やがて、

枱の奥から女が一人(遠子)現れる。

彼女の手には一本の白いチョーク。

舞台を遠慮なく対角線上に突っ切ると、舞台真ん中二つの「REC」の間に立つ。

大きく一つ、自分を取り囲むように円を描く。その最中、枱の奥から一貴、薫子が現れる。

薫子の手には、カセットテープを使用するタイプのビデオカメラ。

遠子 (円を書きながら) ね、こ、お、でい、ん、ぐ

遠子 ……千年後？  
一貴 千年後  
遠子 千年後ねえ……  
一貴 うん  
遠子 うーっ、少なくとも私達はみんな死んでる  
一貴 (笑って) そりゃあまあ  
遠子 あ、そもそも人類滅んでるんじゃない？  
一貴 滅んでるかな？  
遠子 滅んでるんじゃない？ だって千年でしょ？ それで、人間が残した、アンドロイド？  
一貴 みたいな奴だけ残ってる、みたいな。そんなじゃない？  
一貴 (急に) 薫子はどう思う？  
薫子 (カメラのレンズを覗き込んでいる) ん？  
一貴 聞いてた？  
薫子 半分  
一貴 え？ 回してる？  
薫子 回してる回してる  
一貴 なんて？  
薫子 まあまずテストってことで。慣れないと  
一貴 ちょっと触らして  
薫子 お前ゼッテー壊すなよ  
一貴 (カメラを触って) おお……  
薫子 お前ゼッテー壊すなよ  
一貴 (サイドビューを開いて) おお……！！  
薫子 返せ  
遠子 (一貴へ) で、なんで急に？  
一貴 (カメラ返しながら) ん？  
遠子 なんで急に千年後？  
一貴 ほら、もうすぐ21世紀  
薫子 ああ(笑う)  
一貴 それで次回作のテーマそれにしよっかなって  
遠子 え、次回作？  
薫子 最近、ぼしかったばっかじゃん  
一貴 まあまあ  
遠子 どのなのやるの？  
一貴 SF。今から千年後を舞台にしたSF映画  
薫子 あのね、一貴。SFは撮るのはとにかく金が  
一貴 まあまあ予算の話は  
遠子 私はいいと思うけどなあSF  
一貴 いいよねSF

薫子 あ、

一貴 ん？

薫子 そうか……もう来月2001年

一貴 どうかした？

薫子 2001年宇宙の旅の年だ

一貴 あー

薫子 全然あんな感じにはならなかったな

一貴 なあー

薫子 宇宙旅行もまだまだな

一貴 なあー

遠子 ？

一貴 ん？

遠子 え？

一貴 え？ 知らない？

遠子 え？ なんですか？

一貴 キューブリック。2001年宇宙の旅

遠子 キューブリックって……映画俳優……あれ、監督？

一貴 あー

薫子 あー。知らないか最近の若人は

遠子 (笑って) 同い年

一貴 (急に「ツアラトウストラはかく語りき」のメロディーを歌う) チャーリーン、

チャーリーン、チャーリーン

遠子 え

二人 (一貴と薫子) デーデエエエー！！

遠子 え、何？ 怖い。え？

薫子 ドンドン、ドンドン、ドンドン、ドンドン (ドラム)

謎の間。遠子はきよとんとしている。

一貴 (ふいをついて) チャーリーン、チャーリーン、チャーリーン

遠子 え、え、え、え、え

二人 (一貴と薫子) デーデエエエエエ、デデデーー！ツツ！！ デーデーー！ツツデエ

デエデエー！！！！

遠子 待って、怖い、怖い、待って

一貴 知らないかあ、2001年宇宙の旅

遠子 作品名ですかね。また見ときます

一貴 古い映画だけど見といて損は無いと思うよ。これからSFを撮るわけだし

薫子 でもさ一貴、シナリオ書けるの？ SFって難しいよ？

一貴 書ける書ける。なんならもうここにある (自分の頭を軽く指先で叩く)

薫子 ふーん、タイトルは？

一貴 ん？

薫子 え、タイトルも決まってるの？

一貴 いやまあタイトルは決まってるけど、タイトルなんて最後でいいし、シナリオはすぐに  
薫子 へー、言うね。いいの、カメラ回ってるけど

一貴 まあ……シナリオをきちんと清書するのに三ヶ月。絵コンテ二ヶ月。そこから一月で撮影  
開始として、一年後には完成してるかな

遠子 え、大丈夫？ 九月には学祭で作品出したりとか

一貴 大丈夫、大丈夫、そういうの見越したうえで言ってる

遠子

遠子、急に会話から外れると、舞台の対角線に一本、チョークで直線を描き始める。

薫子 へー、言ったね。じゃあ賭ける？ 今から一年後に、映画完成していたら、来年の忘年会  
は私の奢り、完成していなかったら、一貴の奢り

一貴 賭ける賭ける

薫子 遠子、聞いた？ 来年は一貴の奢り

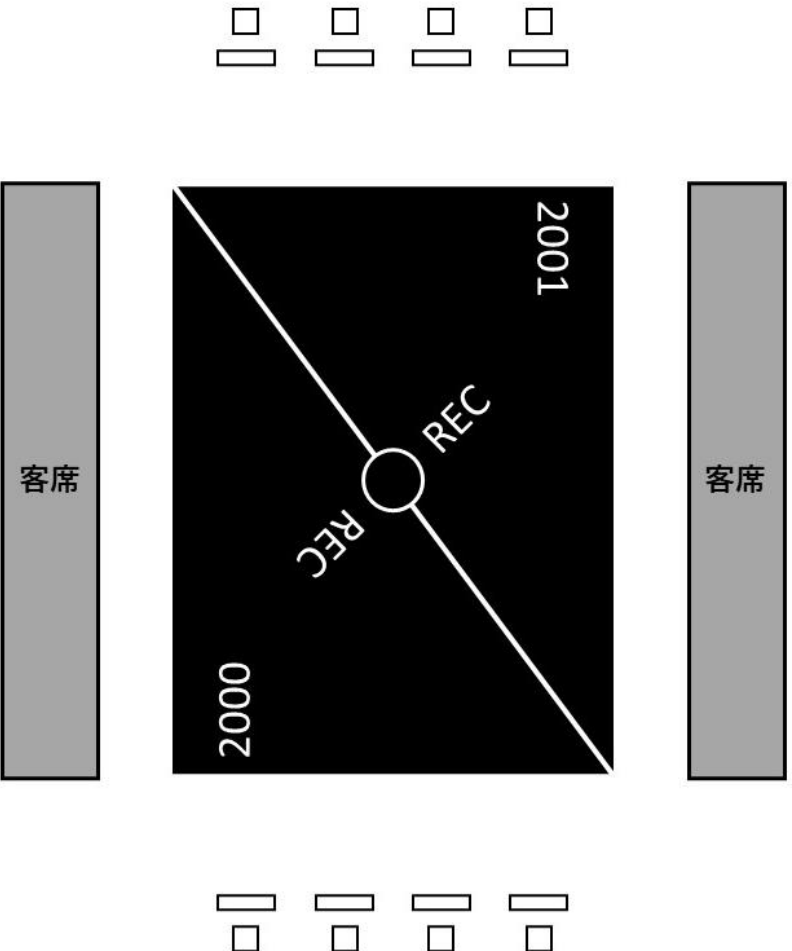
遠子 ー（作業をしながら生返事で）

薫子 まあ証拠はばっちり、ここにあるけど。あ、来年さ、この映像、皆で見ようよ。賭けの結  
果確かめながら

遠子 いいね

対角線の線を引き終わると、舞台床に二か所書かれた「2000」のうち、一つを消しチョー  
クで「2001」に修正をする遠子。

舞台は追加された対角線を境界に「2000年の世界」と「2001年の世界」に分けられた。  
遠子は既に2001年側の空間に移動し2001年の遠子となり、2000年の二人を見ている。



薫子 （カメラを自分に向けながら）一年後の加賀美一貴さん、見えますか？ お酒、ご馳走様

ですー。

遠子 (2001年の世界から) ご馳走様ですー

一貴 貸せ(カメラを奪い取る)

薫子 (ちゃかして) お、

一貴 (カメラを自分へ向け) 一年後の俺へ。映画、完成おめでとう。俺は俺を信じていた

薫子(薫子) も気が付けば2001年の世界に移動している。2000年の一貴(の、映像)を見て遠子と笑っている。

一貴 えー、2001年の沢渡薫子さんへ。

薫子 (2001年の世界から) はい

一貴 人を侮るとどういう目に合うか、今回で反省してほしい。一年後、お前が悔しがる様を見られるのを今から楽しみにしています

カメラを切る一貴。ラインを跨いで、そのまま2001年の世界へ

### 〈A.D.2001〉

薫子 で、一貴さん、今のお気持ちは

一貴 ……

薫子 聞きましたか？ 一年前の一貴さん、俺は俺を信じているって言ってましたけど

一貴 はい

薫子 結果……どうだったんだっけ？

一貴 シナリオも……あがりませんでした！

薫子 ご馳走様ですー(乾杯)

遠子 ご馳走様ですー(乾杯)

一貴 いやでもこれは言い訳じゃないけど

薫子 (急に切れて) 言い訳だろうが!!!!!!

一貴 すみません言い訳です。これは言い訳ですが

薫子 聞きましょう

遠子 座して聞きましょう

正座する二人。

一貴 どうせ映画を、長編映画を撮るなら、それはもう究極の、究極の映画を撮りたい……じゃ  
ないですか

薫子 究極の？

一貴 それこそ……千年先も見られてるような

薫子 (爆笑)

一貴 笑うなよ

遠子 あ、そういうこと？ だから千年後を舞台にしたの？

一貴 そう

薫子 西暦3000年はもう映画無いって

一貴 (強く) いや、ある!

薫子 百年後でも怪しい

一貴 (更に強く) いや……あるッ!!

薫子 映画どころかもう人間もないかもよ

一貴 滅んでるかな

薫子 滅んでるかもよ。戦争も起きそうだし

間。

一貴 ……すごいことなってるね、アメリカとイラク

薫子 このままグダグダに始まった戦争がグダグダの中世界中に広まり、終わらせ方を誰も分からないまま、ある馬鹿が衝動的に核のボタンを……なんてこともあるかもしれないじゃん

遠子 えー、あるかな

薫子 え、全然あるでしょ

遠子 まあ

一貴 ……人間がいなくなっても映画は残ってるかもしれないだろ

薫子 人間がいないのに誰が映画を見るんだよ

一貴 それはその……分かんないけど。人間が滅んだ後も残っている……そのアンドロイド的なものとか……あ、あとひょっとしたその偶然地球に来た……宇宙人? とか

薫子 ……おもしれーじゃん

一貴 (急に肯定されて戸惑って) お、お

薫子 つまり、千年後、人間が滅んだ世界でも見られるような映画を撮りたいと

一貴 うん……まあそういうこと

薫子 ……ふうーん

間。

薫子 一貴さあ。あれ見た時……ビルに飛行機が突っ込んでいくあの映像を見た時、どう思った?  
た?

一貴 映画みたいだっと思って

薫子 な

一貴 ……

薫子 あの瞬間少くない人間が死んだのに、映画みたいだっと思ってしまったよなあ

一貴 ……

薫子 作ろうとしている映画は人は死ぬの?

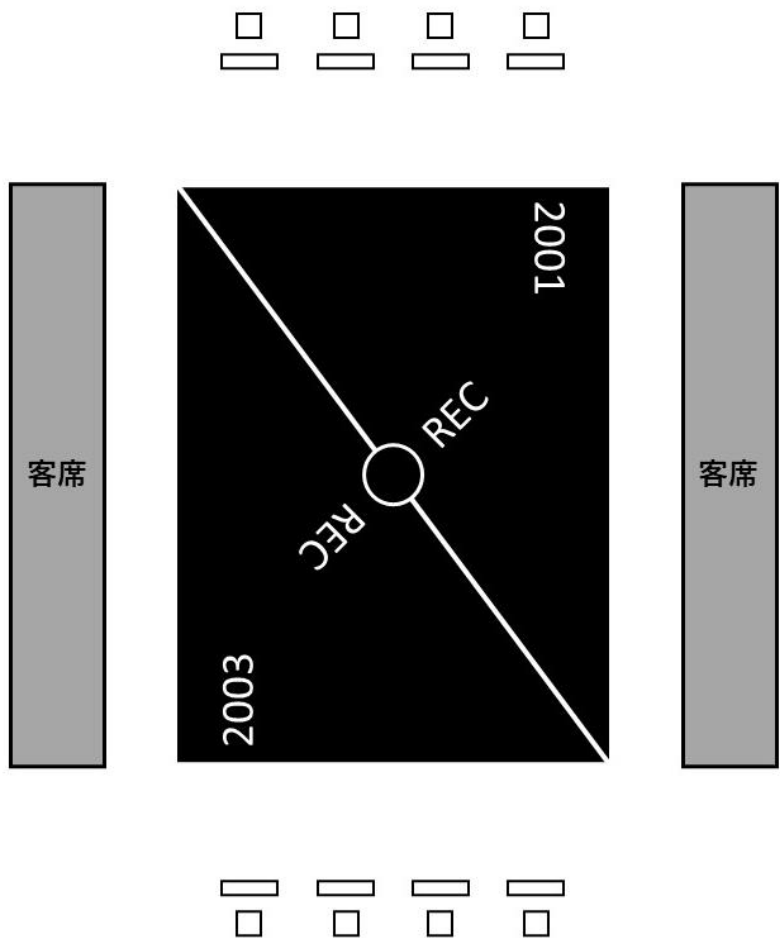
一貴 人はたくさん死ぬ。死ぬ瞬間は撮らないけど

薫子 へえ……なんで

一貴 人間なんてカメラの外で死ねばいいから

一瞬の間





思わず笑ってしまう薫子。

薫子 ……いいねえ、あまりに馬鹿でいいねえ……で、それはいつ完成するんだよ

一貴 まあシナリオをきちんと清書するのに三ヶ月。絵コンテ二ヶ月。そこから一月で撮影開始として、一年後には、

薫子 それそっくりそのまま一年前の一貴も言っていたけど

遠子 私達、そろそろほら、就職活動とかもあるけど

一貴 大丈夫、大丈夫、そういうの見越したうえで言ってる

遠子、急に会話から外れると、また床の文字を修正し始める。  
その間も会話は続いている。

薫子 で、タイトルは？

一貴 確かにタイトルは決まっていんだけどタイトルは最後でいいし

薫子 (遮って) ふーん……じゃあもっかいやろうか

一貴 ……賭けるか

薫子 来年の忘年会、この映像を見よう。映画、完成していなかったら、また一貴の奢りね

一貴 完成していたら薫子の奢りってことでもいいんだな

薫子 当然

会話の最中、舞台はこのように変わっている。

舞台は対角線を境界に2001年の世界と2003年の世界に分けられた。  
2001年の空間で、2001年の一貴（一貴）、薫子（薫子）の会話が行われている最中、2003年の空間には遠子がいて、過去の二人（の、映像）を見ている。

薫子（カメラを向けて）じゃあ一貴。何か2002年の我々に向けて一言

一貴 2002年の沢渡薫子さんへ、人を侮るとどういう目に合うか、今度こそ、反省してほしい。  
一年後、お前が悔しがる様を見られるのを今から楽しみにしています

遠子（2001年の映像を見ながら2003年の一貴へ）こんなこと言ってますよ一貴さん

一貴（2003年の世界へ来て）いやー

薫子（カメラを自分に向けて）じゃあ私からも、2002年の一貴さんへ。……お酒、ご馳走様です……！

一貴（2001年の映像を見ながら2003年の薫子へ）こんな事言ってますよ薫子さん

薫子（カメラに向かって）乾杯！

カメラを切る薫子。ラインを跨いで2003年の世界へ

### 〈A.D.2003〉

一貴 いやー

遠子 いやはや

薫子 ……ほんと申し訳ないわ

遠子 完全に忘れてたね2002年

一貴 2001年の俺たちほんと申し訳ない！

薫子 申し訳ない！！

遠子 光陰矢の如しでした本当に申し訳ない

一貴 就活忙しくて完全に忘れてました本当に申し訳ない

しばらく過去の自分たちに謝る三人

薫子（ビデオを手を取って）……にしても、若かったなあ

一貴 この時……三年生かあ

薫子 どんなの撮る気だったの。結局

一貴 いや、だった……って

薫子 だった、でしょ。仕事も就いて

一貴 まあ就職はしたけど。働きながら映画撮る――

薫子（遠子を見て）子供もできてさ

一貴 ……

薫子（無言で一貴を蹴る）

一貴 うお

薫子（急にキレて）私より先に結婚するなあ……！！！！

一貴 お前、結婚興味ないじゃん

薫子 人が結婚するのはむかつく

一貴 えー……  
 薫子 結局大枚はたいて買ったこのカメラも、短編三作撮って終わりかあ。それが、寂しいかな  
 一貴 いやでも、本当に、映画は絶対作るから  
 薫子 もう型遅れだよ。だってこれ（カメラを開けて）カセット

問

一貴 あれカセットだっけ？

薫子 そうそう。ビデオ

遠子 うわあ

薫子 ほら、アスペクト比……アスペクト比しかない

遠子 三年の長さ実感するなあ

一貴 （真顔で）まあカメラは買い直せばいいし

薫子 簡単に言うねえ

一貴 仕切り直そう。まあ、確かに来年は子供生まれるし、それからしばらくは無理かもだけど

……今のうちにシナリオ書いて

薫子 一貴それ、三年前から言っているからね

一貴 三年間温めているんだよ

薫子 それもう腐ってるよ

一貴 腐ってない、腐ってない。ちゃんと撮るから……

薫子 じゃあ、いつ撮るんだよ

一貴 ……四年後

薫子 四年後？

一貴 四年経ったら、生活も流石にそろそろ落ち着くだろうし……あと、去年飛ばしちゃったか

ら、次は四年後ってちょっと面白くない？

遠子 どういうこと？

一貴 いや、こうやって年末に集まってき、忘年会しながら、ビデオ回すのさ、2000年から始ま

って、2001年、2003年と来たから次は四年後、2007年がいいかなって

薫子 それってつまり……次は四年後で、その次は……え？ 八年後ってこと？

一貴 そうそう

遠子 えっと、更にその次は十六年後？

一貴 そうそう

薫子 ……馬鹿な事考えるね

遠子 四年後……この子、三歳か

薫子 そういえば男の子？ 女の子？

遠子 来週検査の予定

薫子 名前考えてる？

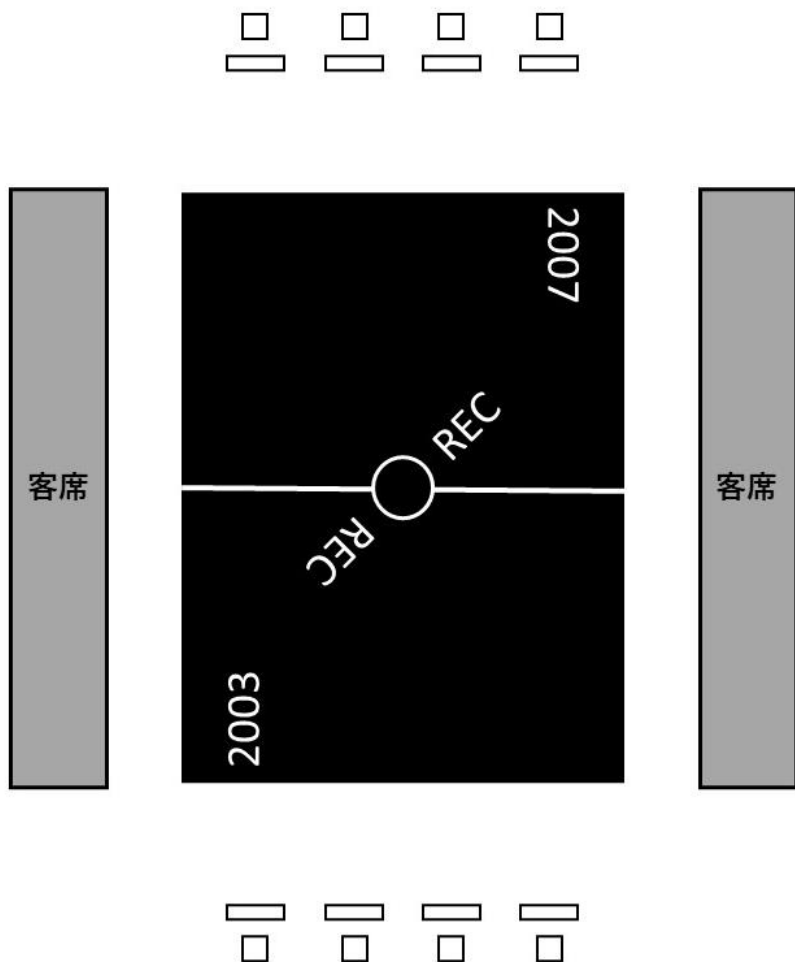
遠子 男の子なら正樹。女の子なら双葉

一貴 俺は男の子なら加賀美スピルバーグが良い

遠子 （無視して）男の子なら正樹。女の子なら双葉です

薫子 いいじゃん

遠子 |



遠子、急に会話から外れると、また床の文字を修正し始める。今度は斜めのラインは消し、代わりに舞台上に直角にチョークでラインを引き始める。その間も会話は続いている。

薫子 ……四年後ね。私も院終わったら大学出るし、この部屋はもう使えないか

一貴 まあ場所なんてどこでも

薫子 四年で映画作れるかも大分怪しいし。だってタイトルも決まってないんでしょ？

一貴 いや……タイトルは実は決まってる

薫子 え

一貴 タイトルは……4047

薫子 ……ふーん、1984みたいなタイトルだね。それって西暦？

一貴 (笑って) さてね

薫子 あれ、西暦3000年が舞台だったよね。じゃあ西暦じゃないの？……じゃあ何の数字

一貴 (笑って) さてね

薫子 暗証番号？ あ、なんかの語呂合わせ？

一貴 (にやにや笑っている)

薫子 教えろお!!!! (胸倉をつかむ)

一貴 まあそれはシナリオ出来てからのお楽しみ

線を書き上げると年号を書き直す遠子。

会話の最中、舞台はこのように変わっている。

舞台は2003年の世界と2007年の世界に分けられた。  
遠子は既に2007年の世界にいて、懐かしそうに2003年の映像を見ている。

薫子 既に三年もべ切ぶちしている奴が言うねえ

一貴 それだけネタを温めているんだよ

遠子 (他愛もなく) ははは

薫子 四年後……覚えていられるかだよなあ

一貴 覚えてられるって

薫子 お前が覚えてるかが一番心配だけどね

一貴 ……あれ

薫子 ん？

一貴 遠子どこ行った？

薫子 あれ……いない？

一貴 どこいつちゃったかな……

薫子 トイレ？

遠子 ……

しばしの間。

二人はなんとなく部室の外を見たりなどする

そんな二人の様子を、2007年の世界から遠子はじっと見ている。

一貴 ……そういえばさ

薫子 ん？

一貴 ラストサムライ観た？

薫子 観た。え、観た？

一貴 観た。……せーの

薫子 (傍線部、同時に) 最高

一貴 (傍線部、同時に) 微妙

間。

一貴 え、最高？

薫子 え、微妙？

一貴 微妙でしょうあんなん。アメリカから見た日本の偏見だらけで

薫子 (急にキレて) ド素人があッ!!!

一貴 えー

薫子 それがいいんだろうがあッ!!

一貴 いえ、良くないでしょ

薫子 お前は映画つてもんが何も分かってねえなあ!!!

一貴と薫子は口論をしながら舞台外へ。

遠子 ははは……懐かし……というか若  
 遠子 ……ラストサムライあったなあ

薫子、カメラを回しながら2007年の世界へ現れる。

薫子 私の言ったとおりでしょ  
 遠子 え？  
 薫子 やっぱ忘れてた一貴  
 遠子 あ……ねツツ！

<A.D.2007>

遠子 もう回ってる？  
 薫子 もう回ってる  
 遠子 なんか変な感じだね  
 薫子 ん？  
 遠子 過去の自分を見ている、過去の自分を、また見ている過去の自分を、今の私が見ている、それが撮影されている  
 薫子 （カメラの調整をしながら）クイズ  
 遠子 え  
 薫子 カメラとテレビを繋ぐとき、今カメラで撮っている映像が、テレビに映るでしょ。そのカメラで映像が映し出されているテレビを撮影すると、どうなるでしょう  
 遠子 え、えっと……テレビに、テレビが映るから……あれ、どうなるんだろ  
 薫子 テレビにテレビが映って、そのテレビに更にテレビが映って、更にそのテレビが映って……  
 遠子 ……少しずつ小さくなりながらその映像がずっと続いていく  
 遠子 へえ、そうなるんだ。合わせ鏡みたい  
 薫子 ……じゃあ、準備出来たらいつでもどうぞ  
 遠子 ……八年後の、一貴さん。そして双葉へ  
 薫子 ……  
 遠子 このビデオを見ている頃には、私はもう生きていないでしょう  
 薫子 ……  
 遠子 私は……（急に面白くなって笑ってしまう）  
 薫子 おい  
 遠子 ごめんごめん、なんかあまりに台詞っぽくて  
 薫子 女優だろ  
 遠子 女優だけどさ

遠子、呼吸を整えたり等する。

用意してきた言葉の冒頭を何度か言う。薫子はそれを見ている。

薫子 ……遠子  
 遠子 ん？

薫子 本当には呼ばなくていいの？

遠子 本当には呼ばなくていいの

薫子 後で恨まれると思うけどなあ

遠子 あんな人、恨ませておけばいいから（笑って）

薫子 一応言っとくけど、後で怒られるの私なんだからね

遠子 ごめんね薫子

薫子 （急に切れて）許さねえ！！！！

遠子 （笑って）許してー

薫子 じゃあ、今度映画奢って

遠子 え？

薫子 パイレーツオブカリビアン4の製作決定したらしいから、それでいいよ

遠子 それいつやるの？

薫子 さあ……四、五年は、かかるんじゃない？

遠子 ……ねえ薫子

薫子 （遮って）映画でさ、手術の成功率は1%以下ですって言われて、失敗するなって思う奴いる？

遠子 （笑って）いない

薫子 ほら、もう一回

遠子 ……八年後の、一貴さん。そして双葉へ。このビデオを（また笑いだしてしまう）

薫子 おーい

遠子 ごめんごめん……真剣にやろうと思えば思うほど……おかしくて、なんだか……

遠子 （練習で）八年後の、一貴さん、そして双葉へ。八年後の……八年後のことなんて全然想像つかないなあ……えーと2015年？ 2015年ってどうなってるんだろ

薫子 とりあえず……テレビの地デジ化は終わってる

遠子 あ、そっか、あれえーと、四年後か

薫子 テレビも16:9になって……4:3しか撮れないこの子はいよいよお役御免だね

遠子 カメラもビデオもすっかりデジタルだもんね

薫子 2015年だと映画は全部3Dかもね

遠子 あー。アバター、3Dなんだってね

薫子 カメラもビデオも、全部3D化してたりして

遠子 ははは、かもねー。それ未来だな

薫子 あるいは……みんな携帯でできるようになって、カメラもビデオも無くなっちゃうかもね

遠子 あ、それもありそ。でもそれはなんか未来って感じじゃないな

薫子 ……一回切ってやり直す？

遠子 いいよこのままで

薫子 ん

遠子 えー、では今度こそ……

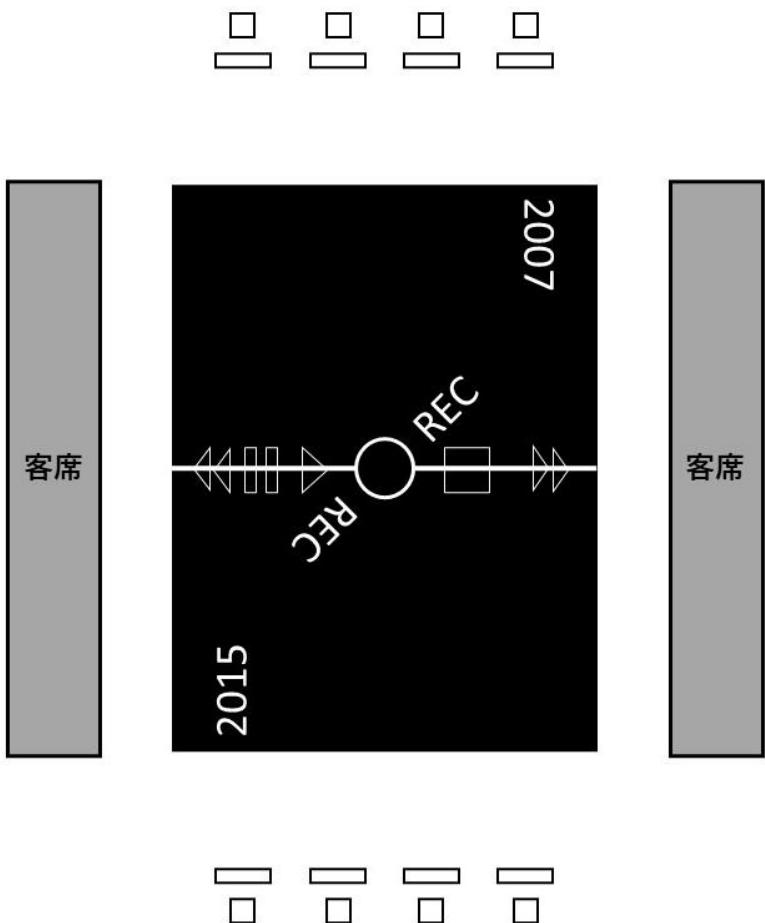
薫子 ……

遠子 もう一回。八年後の、一貴さん。そして双葉へ。このビデオを見ている頃には、私はもう生きていないでしょう。いや一応生きている可能性も全然あるんだけど、そうなりそうならそっとこの映像は廃棄しようと思います。恥ずかしいしね。

薫子、いつの間にかはけている。  
遠子、舞台上にチョークでまたなにやら書き始める。

遠子　えー、何を話そうとしていたんだっけ……忘れっぽくていけないですね……あ、そうそう、一貴さん、私、あなたに怒っている事があります。それは私と結婚してから、まったく映画を撮ろうとしなかったことです。確かに結婚してすぐに双葉も授かったし、仕事も始めてバタバタしたし、そういうのがやっと落ち着いて、私が職場に復帰しようかなってタイミングでその……こうなっちゃったので、まあ本当に大変だったとは思うし、大半は私のせいですが……でもね、私は一貴さんの映画楽しみにしていたので。結局完成を見れなそうなのが非常に恨めしいです。「4047」どんな話なのか私にも教えてくれなかったものね。正直言うと、漱石の「門」みたいに、なんにも思いついていないから適当にタイトルを付けたんじゃないかって疑っていたりもします

気が付くと、舞台には2015年の一貴と双葉（双葉）がいる。  
その頃には、舞台は遠子の手によって、このようになってる。



2015年の空間で、一貴と双葉は2007年の遠子をじっと見ている。

遠子　なので……一貴さん。私からのお願い……としては、映画は撮ってください。いつになってもいいけど。あ、でも、絶対に適当に作らないでね。駄作を作ったら、絶対に許さないから。よろしくね。えーと、では双葉へ。



遠子 この映像を見ている頃はもう十一歳ですね。そろそろひよつとしたら、好きな子なんてできている頃でしょうか？ まだちよつと早いかな……。お母さんからのアドバイスですが……映画監督とは付き合わない方が良いでしょう。……なんちゃって。どんな人でも、双葉の事が好きで、大切にしてくれる人なら、お母さんは賛成します。あ、でも、双葉がね、結婚したくないなら、勿論それでもいいです。とにかく……。その、どう言ったらいいかな……。幸せになつてくれたらと思つています。もつと、双葉と、一貴さんと三人で沢山の時間を過ごしたかった。思い出を作つてあげる事も出来ないで……。本当にごめんなさい。勝手ながら……。双葉みたいな素敵な娘を授かったことは私の人生の一番の誇りです。本当にありがとうございます。

遠子 最後に、二人へ。えーと、ごめんなさい。ちゃんと考えてきたはずなんだけど……。あ、そうそう、一貴さん。今更だけど、2001年宇宙の旅、見たよ。双葉が大きくなる頃には、宇宙旅行とか行けるようになっていたらいいよね。なんてね  
 遠子 それじゃあそろそろ……。一貴さん、双葉、元気だね。……。さよなら。私の事忘れないでね  
 ……（笑つて）なんちゃって

一貴、床に書かれた一時停止ボタンを押す。遠子が止まる。

〈A.D.2015〉

双葉 お父さん、これ撮ってる？

一貴 撮ってる

双葉 ふーん、こんな大きなカメラ初めて見た

一貴 ……

双葉 あのさ……

一貴 うん

双葉 ……私、男の子だったら加賀美スピルバーグだったの？

一貴 俺はそうしたかったけどまあそうはならなかっただろうな

双葉 ふーん

一貴 ……

双葉 まあスピルバーグってファミリーネームだしね

一貴 ……！？（今、気づいた）

双葉 ——お父さん、結局映画撮ってないね

一貴 ……

双葉 なんで撮らなかったの？

一貴 遠子を主役に撮るつもりだったからだよ

双葉 お母さんじゃなきゃ嫌なの？

一貴 そう

双葉 ふーん。……お母さんってそんな凄い女優さんだったんだ

一貴 （あなたがびっくりするくらい大きな声で）いや、遠子はド下手だったッ！！

双葉 ……え？

一貴 （しみじみと、ド下手だったんだよなあ。俺や、薫子の方がよっぽど演技上手だったよ。なんかぎこちなくて……。不自然だし。台本は凄い読み込んでくるけど、解釈の仕方変だし

……台本解釈おかしかったんだよなあ……え、そこを深読みする？ みたいな

双葉 そうだったんだ……でもお母さんじゃなきや嫌なの

一貴 でも遠子じゃなきや嫌なの

双葉 そもそもお父さんとお母さんってどうやって出会ったの？

一貴 サークルで

双葉 でも大学違うよね

一貴 え？ ああそうそう。遠子は近所の大学でさ……あれ、どうやって出会ったんだっけ。僕から声を掛けた気がするんだけど

双葉 え

一貴 え

双葉 普通そんな事忘れる？

一貴 ごめん

双葉 ぼけっとしているんだから

一貴 でももう十年……十五年か、ずっと前の事だからなあ

双葉 ……お母さんって、この時いくつ？

一貴 二十七かな

双葉 ねえ、お父さん、次の時、二十七だよ

一貴 ん？

双葉 次……十六年後……二十七歳

一貴 ……

双葉 十六年後にさ、私で撮ってよ映画

一貴 ……じゃあその時、双葉が良い女優になっていたら

双葉 約束ね

双葉、はける。一貴、しばらく画面の中で止まっている遠子を見つめているが、やがて逆再生ボタンを押す。

遠子 (逆再生)

再生ボタンを押す一貴

遠子 そろ……一貴さん、双葉、元気でね。……さよなら。私の事忘れないでね……(笑って)  
なんちゃって

逆再生ボタンを押す一貴

遠子 (逆再生)

再生ボタンを押す一貴

遠子 さん、双葉、元気でね。……さよなら。私の事忘れないでね……(笑って)なんちゃって

逆再生ボタンを押す一貴

遠子 (逆再生)

再生ボタンを押す一貴

遠子 でね。……さよなら。私の事忘れないでね…… (笑って) なんちゃって

逆再生ボタンを押す一貴

遠子 (逆再生)

再生ボタンを押す一貴

遠子 忘れないでね…… (笑って) なんちゃって

一貴 遠子……

遠子 (普通に) なに？

一貴 え

遠子、普通に動き出す。そして舞台を横方向に大きくし始める。

一貴 え、え、え……なにしてんの

遠子 舞台、横に広くしないと。アスペクト比

一貴 は？

遠子 4:3から16:9!

一貴 あ、ああ……え？

遠子 手伝って!

一貴 あ、うん

一貴、見様見真似で遠子を手伝い始める。

一貴 (作業しながら) え、話せてる? 話せてる? よね

遠子 (片手間に) 話せてる話せてる

一貴 なんで話せてるの?

遠子 なんてって、一貴さん死んじゃったから

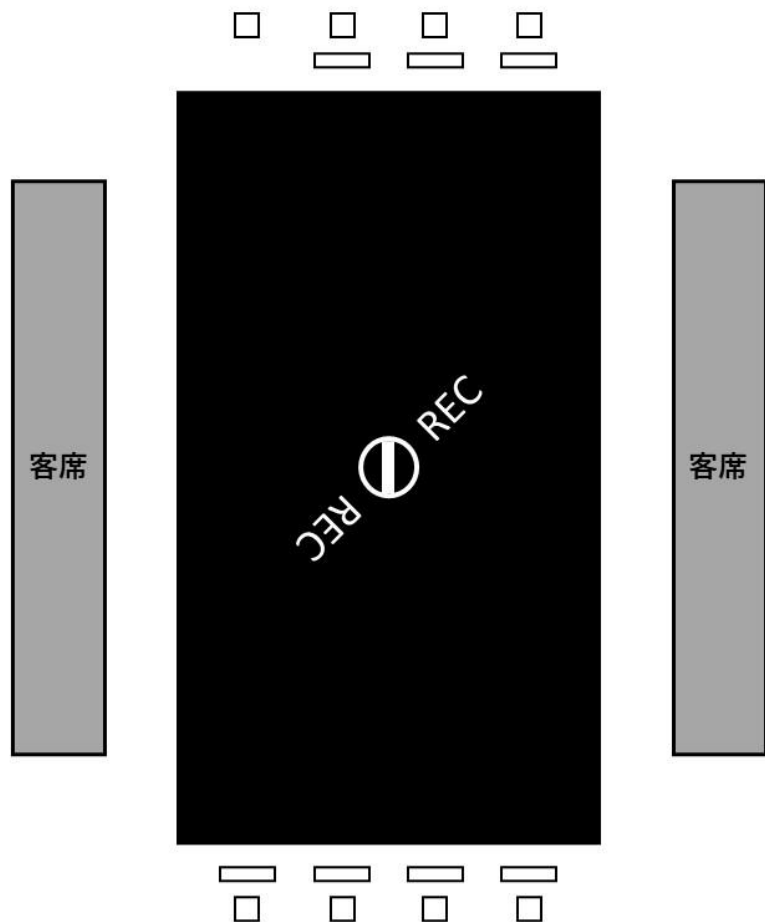
問。

一貴 ……俺、死んじゃったっけ?

遠子 死んじゃったんだよ。2030年で……後、一年で約束の年としだったのにねえ

一貴 そうか、俺、撮れなかったのか

遠子 ほら一貴さん、ちゃんと謝って  
 一貴 えー……死んじゃってごめんなさい  
 双葉 ああうん……まあしゃあなしだよ  
 遠子 私も死んじゃってごめんね  
 双葉 いや、まあ、それもまあ別に  
 一貴 約束守れなくてごめん  
 双葉 それはちょっと怒ってる  
 一貴 ごめん  
 遠子 (チヨークを差し出して) じゃあ、はい  
 双葉 え?



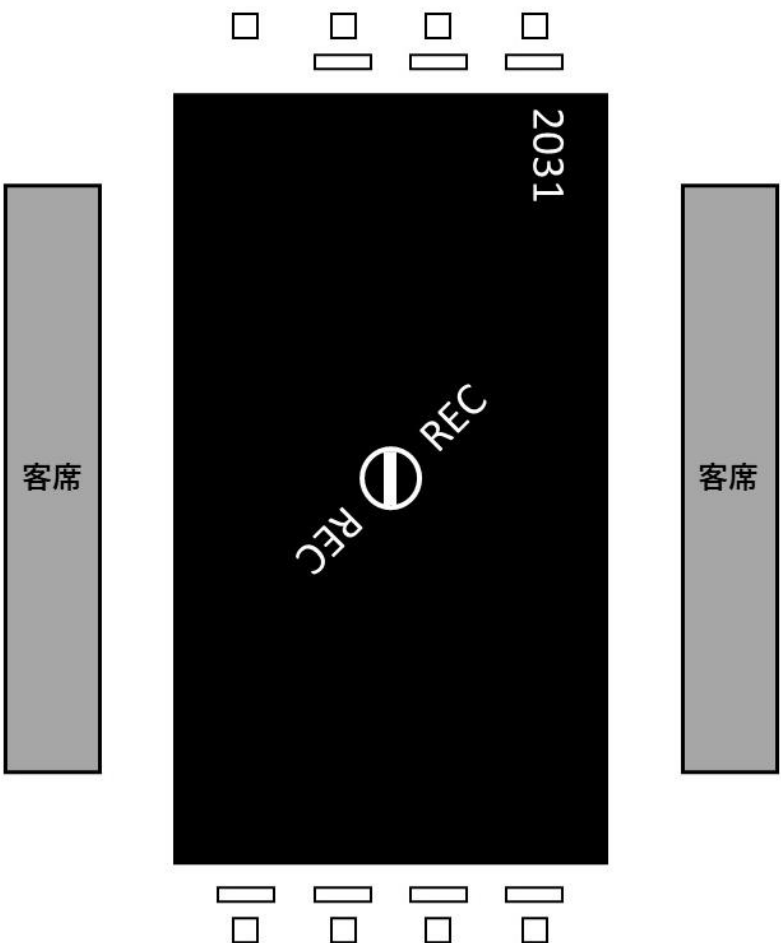
遠子 本当にカメラの外で死んじゃうんだから  
 一貴 ああ……なあー  
 遠子 いつもボケっとしてるんだから……死んじゃったことにも気づかないで、……まった  
 く  
 一貴 ごめん  
 遠子 謝るの私じゃないでしょ…… (遠くへ) 双葉あー  
 双葉 (粋の外から) え  
 遠子 こっち来て  
 双葉 あ、うん  
 双葉、舞台へやって来る。遠子は、舞台脇の八つの粋の一つを舞台真ん中に運ぶ。  
 その粋を通して、親子が向き合う。

遠子 バトナーターツチ!

遠子、チョークを双葉に渡す。その後、一貴とともにほける。  
双葉、チョークをしばらくしげしげと見つめているがやがて

双葉 (少し恥ずかしそうに、困ったように) えーと、  
双葉 西暦 2031年

双葉、床にチョークで 2031 と書く。



蝉の音。市営墓地である。舞台の真ん中の枠が加賀美家の墓となっており、そこに向かつて手を合わせる双葉。その様子をスマートフォンで薫子が撮影している。

双葉 そういうわけでお父さん、お母さん。2031年です。十六年後ってひどいよね……覚えているの大変でした。正確には十五年と八カ月ですが、もうその辺は許してください。それとお母さん……映画は、結局お父さんが何にも言わないで死んじゃったので諦めてください。これもひどいよね。文句はお父さんに言ってください。……とりあえず私は元気にやります。

双葉 それと、今日は薫子さんにも来てもらいました

スマートフォンを薫子からもらう双葉。そのまま薫子にカメラを向けて

双葉 薰子さん何か言いたいことありますか？  
 薰子 あんな馬鹿二人にかけ言葉は無いよ  
 双葉 ……だ、そうです。  
 薰子 (紙煙草を取り出して)ここ吸ってよかったよね  
 双葉 え、はい

薰子、タバコに火をつけて吸う。その後墓前にも煙草を一本供える。

双葉 あれ、お父さん吸っていたんですか？

薰子 結婚する前な

双葉 へえ

薰子 禁煙成功したのに私より先に死によつて

双葉 ……

薰子 (急に墓にキれる)ふざけるなよなァッ!! 二人ともよおッ!!!

双葉 ……!!?

薰子 (差し出して)吸う人？

双葉 いえ……薰子さん、今回はいつまで日本に？

薰子 九月。東欧をいくつか回るから帰るのは春かな……

双葉 あんまり危ないことしないでくださいね

薰子 危ないところで写真撮るのが仕事だからなあ……あれ、まだ撮っている？

双葉 あ、はい、一応

薰子 iPhoneの……28……だっけ

双葉 これは26のSPXS-Rです

薰子 便利な時代になったよ、カメラもビデオも廃れる一方

双葉 ……

薰子 (煙を一服して)……ここは変わらんねえ

双葉 ああそうですね。子供の頃と全然変わってないな

薰子 私の子供の頃ともたいして変わってない

なんとなくの間。薰子は煙草を吸っている。

薰子 次が……えーと三十二年後？

双葉 三十二年後(笑って)

薰子 三十二年後(笑って)

双葉 まあでも三十二年後は流石にないと思います。私も結構な歳だし。結婚とかも興味ないし

薰子 そう

双葉 まあ今日のも自分への踏ん切りのためにやったようなものなので

薰子 ……

双葉 私、お父さんお母さんと違って特にやりたいことも無いし……あと三十二年も生きててなにすのって感じですしね。あ、それに、お母さんもお父さんも早く死んじやったから……私も三十二年もしたら、普通に死んでるかも

薫子 遠子も一貴も全然……そんな目標があるようなタイプじゃなかったけどね  
 双葉 え、そうなんですか

薫子 少なくとも大学時代は……グダグダしていただけだよ。だから映画が完成してない

双葉 (笑って) 確かに。あれ、でも短編は何作か撮ったんですね

薫子 駄作だけだね

双葉 え、

薫子 一貴、別にたいしてシナリオ上手じゃなかったからなあ

双葉 ははは

薫子 見たこと無いの？

双葉 燃やしちゃいましたから。お母さんと一緒に

薫子 ああそうか……そうだった

間。

薫子 三十二年後……特に何か凄いことあったわけじゃないけど、一応楽しく生きてまーすって  
 だけで、映像撮っても、それはそれで嬉しいと思うけどね、二人は

薫子は墓を見つめている。双葉、喋りながら、舞台上に一つ柩を追加する。

薫子 ま、私は三十二年後覚えていられる自信ないけど……というかもう多分死んでいるけど

双葉 長生きしてくださいよ

薫子 八十三だよ？

双葉 (笑う)

薫子 (笑って) タバコ止められないからなあ

薫子がタバコをふかす。

双葉  
 |

双葉、ふと、チヨークを置いてはける。

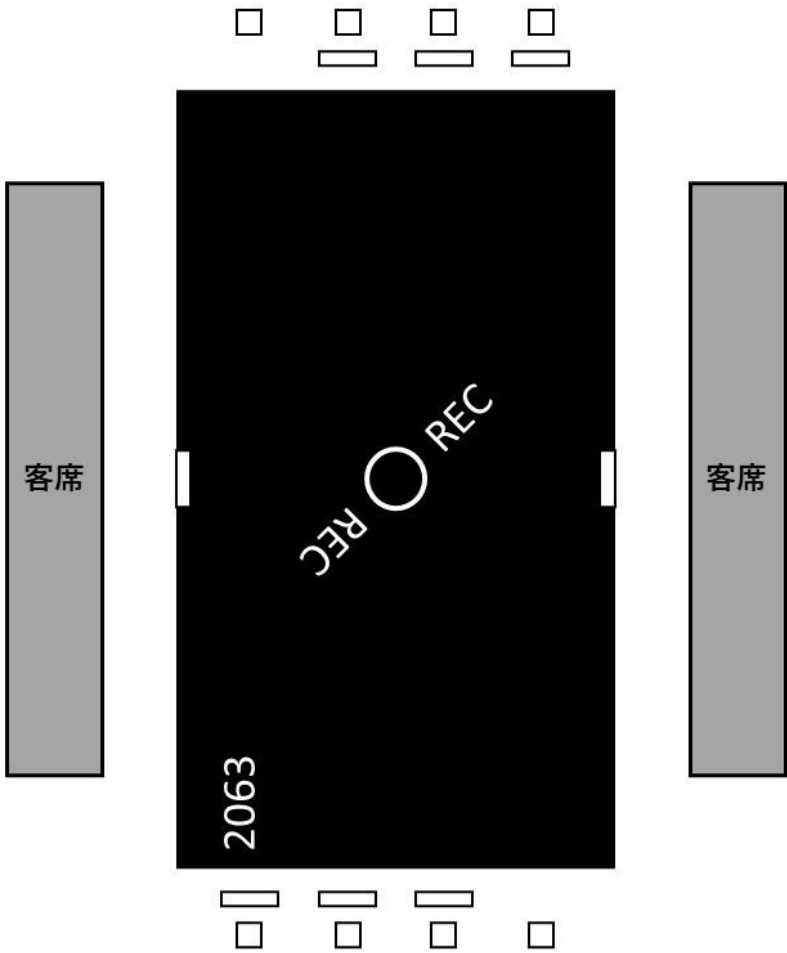
すれ違い様に、双葉に雰囲気の似た女が現れる。双葉の娘、未来だ。

彼女は、先ほどまで墓として使われていた中央の柩を端へ移動した後、双葉が置いていたチヨークを手取る。

今や腕時計のサイズになったスマートフォンへ自分の姿を録画しながら話し始める。

未来 突然ですが、こんにちは。加賀美双葉の娘、加賀美未来<sup>みらい</sup>です。因みに私もお母さんも十年前までは苗字が狭霧<sup>さぎり</sup>だったのですがここはお母さんの黒歴史になるのであんまり触れないであげてください

未来、舞台の年号をチョークで書き換える。舞台はこのように変わっている。



未来 (書き上げ) えー  
未来 時は！ 2063年ー！

<A.D.2063>

薫子 (困ったように) ……いやあー

しれっと2063年世界にいる薫子

薫子 ……まさか生きているとはな  
未来 沢渡薫子さん八十三歳おめでとうございます！！  
薫子 タバコ吸っててもいけるもんだなあ！ 八十代！！  
未来 (カメラ(腕時計)を向けて) なにかメッセージを！  
薫子 メッセージ？



未来 一応、撮っているの

薫子 (未来の腕時計へ) これでちゃんと撮れているの？

未来 はい、ばっちりです (かけている眼鏡を薫子に渡す。そこには録画されている映像が映っている)

薫子 (眼鏡をかけて) おおー、すげー

未来 なにかメッセージを！ 六十四年後に向けて！

薫子 急にメッセージって言ってもなあ

未来 あ、なら……おじいちゃん、おばあちゃんに向けてでもいいので

薫子 ……じゃあまず、多分地獄に落ちている一貴へ。2063年、まだまだ名作映画は毎年できてます！ ……ざまあみろ！！

未来 ざまあみろ！

薫子 天国の遠子へ。なんの因果が……今、お前たちの元気すぎる孫と一緒に、動画撮ってます

未来 おばあちゃんこんにちはー。元気すぎる孫ですー

薫子 えー、じゃあ最後に二人へ。(急に盛り上がりつつ) クイズ！

未来 クイズ！

薫子 ここは、どこ、でしょう！……………

間

薫子 (未来へ) (窓を指して) あっち

未来 あ、はい！

未来、窓の方へ時計(カメラ)を向ける。

未来 えーと、おじいちゃん、おばあちゃん、見えますでしょうか？……あちら、地球になります

間

未来 私達、ただいま、スペースホテルに旅行に来ています

薫子 一貴！ 遠子！ ざまあみろ！！

未来 ざまあみろ！

薫子 長生きしていたら宇宙旅行できたのになあ！ ざまあ！！

双葉 あ、薫子さん。あれやってくださいよ

薫子 あれ？

未来 (急に「ツアラトウストラはかく語りき」のメロディーを歌う) チャーリーン、

薫子 ……チャーリーン

未来 チャーリーン

間

二人(薫子と未来) デーデエエエエー！！

双葉 (舞台外から現れ) ごめん二人とも、ちょっとポリユームが(大きいかも)  
 薫子 ああごめん

未来 ねー、お母さんも入ってよ(カメラを向ける)

双葉 (顔を隠して) 私は恥ずかしいから

未来 えー……

薫子 (双葉を見ながら) ……チャアー……

未来 (同じく双葉を見ながら) ……チャアー……

二人、双葉をじっと見る。

双葉 え

失望する薫子と未来。戸惑う双葉。

唐突に、

薫子 チャアー……

未来 チャアー……

二人、更にじっと双葉を見る。

双葉 え、いや

更に強く失望する薫子と未来。戸惑う双葉。

唐突に、

薫子 チャアー……

未来 チャアー……

双葉 ……(小声で) チャアー……

二人(薫子と未来) デーデエエエエー!!! (盛り上がる)

薫子 ドンドン、ドンドン、ドンドン、ドンドン(ドラム)

未来 本物! ねえお母さん! 本物

双葉 迷惑ですから! 他のお客様に迷惑ですから!

薫子 (無視して) ……チャアー……

未来 チャアー……

双葉 ……(意を決して) チャアー……

二人(薫子と未来) デーデーエエエエ、デーデー……ツツ!! デーデー……ツツデエ

デエデエ……!!! (超盛り上がる)

双葉 迷惑ですから!!! 他のお客様に!!! 迷惑ですから!!!

盛り上がり過ぎて、薫子、咳込みはじめる。

双葉 もう、大丈夫ですか?

薫子 (咳を落ち着けてから双葉に) ……叶ったな  
双葉 え

薫子 宇宙旅行。遠子が言ってた

双葉 はい

未来 あ、そういえば薫子さん。

薫子 ん？

未来 薫子さんなら知っていたりしません？ おじいちゃんと、おばあちゃんの馴れ初め

薫子 え？ 知らないの？

双葉 お父さん忘れたって

薫子 普通そんなこと忘れる！？

双葉 (強めに) ですよね！

薫子 映画館だよ

双葉 映画館？

薫子 ある日……一貴が映画観に行ったら、他に客が一人しかいなくて……それがまあ、遠子だった  
双葉 へえー！

薫子 どうしても感想を誰かに話したくて一貴が話しかけたって

双葉 ……いい映画だったんですね

薫子 ……多分ね

双葉 ……

薫子 じゃ、私、宇宙遊泳してくるから

薫子はけようとする。それを引き留めて

未来 薫子さん最後に！ 宇宙どうですか？

薫子 タバコ吸えたら最高

はける薫子。

未来 元気だねえ、薫子さん

双葉 私より長生きするかも

未来 お母さんも長生きしてよ(腕時計型スマホを向ける)

双葉 あんまり撮らないで、恥ずかしいから

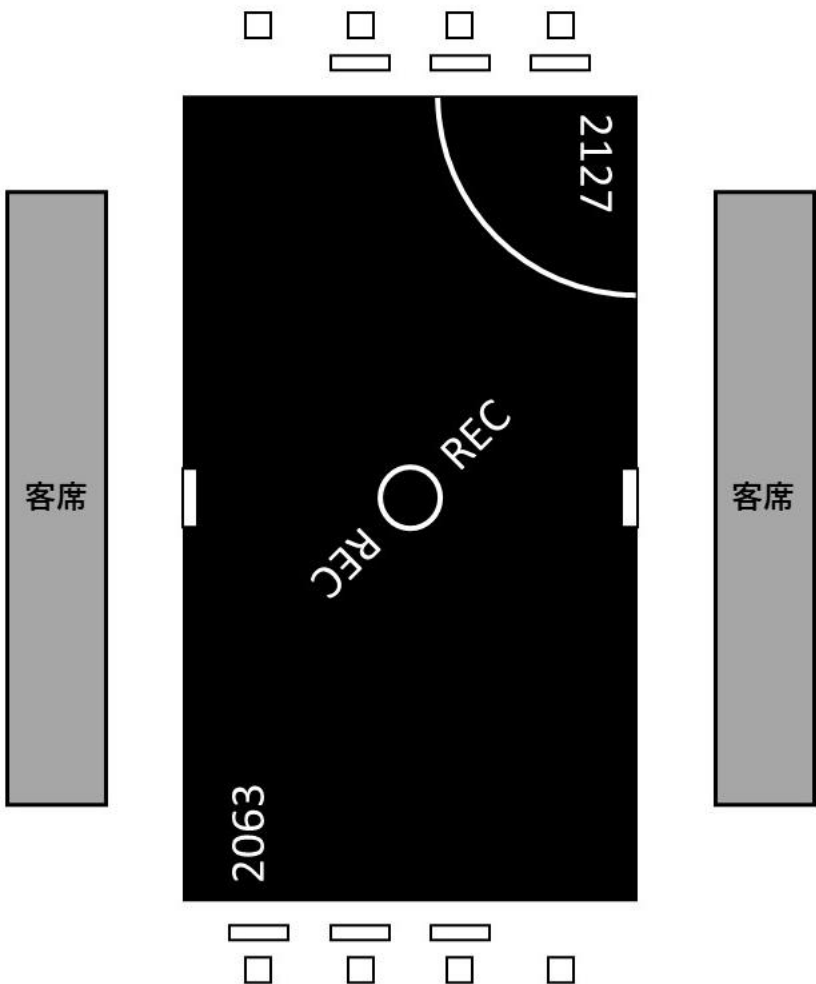
未来 肌とかいい感じにするモードにしようか？(何やら操作しだす)

双葉 ……(その様を見ながら) スマホも変わったなあ

未来、会話をしながら舞台の隅に一本の弧を描き、チョコレートを置く。

その後、引かれた線に区切られた空間に、夜子、HAL登場。夜子はチョコレートを手に取ると  
年号を書き始める。

未来 もう電話はあんまり使わないけどね  
 双葉 ……昔お父さんが言ってた。見てる映画が何年に撮られたか知りたければ、出てくる電話に注目したら良いって。ゼロ年代の作品なら、近未来の設定でも、電話はガラケーだし。90年代なら電話ボックスが出てきたりして  
 未来 電話ボックス？  
 双葉 ああ、未来は見たこと無いか。昔はあちこちにあったんだよ。  
 未来 へえ  
 双葉 この先は、どう進化するんだろうね。それこそ六十四年後  
 未来 ドローンみたいになるとか  
 双葉 飛ばしてどうするの  
 未来 じゃあ人型  
 双葉 うわあ未来だ  
 HAL 的中しましたね  
 夜子 え  
 HAL 我々ヒューマノイドフォンの登場を予期しています  
 夜子 お母さん頭良かったから  
 未来 ……薫子さんはああは言ってたけどさ  
 双葉 ん？



舞台は2063年の世界と、2127年の世界に分けられた。  
 2127年の世界から、夜子は、双葉、未来の姿を懐かしそうに見ている。HALはその傍で姿勢を正して直立している。

未来 減ってるよね。映画

双葉 まあ、そうね

未来 六十四年後は残ってるかな

双葉 未来は映画好き？

未来 うん

双葉 じゃあ、きつとあるよ

夜子 なくなっちゃったね。映画館

HAL 現在も施設としては保存されています。最後に日本で興行として映画が映画館で上映されたのは2098年です

双葉 ……薫子さんの宇宙遊泳見てこようかな

未来 ん

双葉 未来は？

未来 後で行く

双葉 ん

夜子 百年は保たなかったな

双葉、はける。未来それを見届けた後、腕時計（カメラ）へ向けて

未来 えー

未来 息子？ 娘？ それとも孫かな。見えていますか。聞こえていますか？ こんにちは加賀美未来、です

未来 2127年、どうですか？ 六十四年後、私は流石に生きていないだろうけど……あれ、でも生きてることもあるのかな……医学も進歩してるしね。じゃあこの映像は自分で見ている可能性もあるのか。

この映像を誰が見る事になるのか、誰にも見られないのか分からないですけど……とりあえず2063年の私は結構、楽しくやっています。

2127年。これを見ているあなたはどうですか？ 幸せだと私は嬉しいです。あ、でも、どうせなら自分だったらいいなあ。百歳まで生きてみたいし

未来 ……では、ばいばい……次回は！ 2127年

夜子 HAL

HAL はっ

未来、カメラへ向けて手を少しだけ振る。その後、舞台の年号(2063)を消してはける。

夜子 お母さん、何歳まで生きたんだっけ

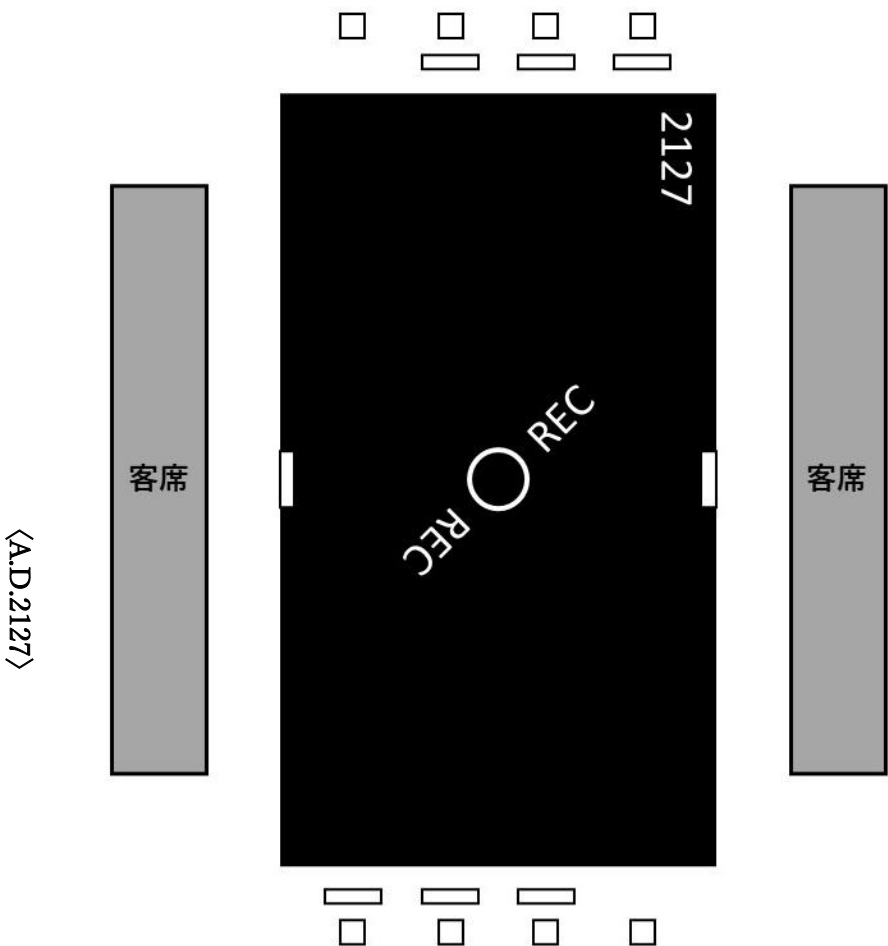
HAL 高坂未来、旧姓加賀美未来様、の享年は五十三歳になります。2089年、軍需用ドローン工場を目標とした空爆に巻き込まれ

夜子 ありがとう（もういい）

HAL はっ

気が付けば雨の音が聞こえる。夜子、未来が書いた弧を消す。

夜子 降ってきたね  
 HAL はい  
 夜子 見納めかな  
 HAL どういう意味ですか？  
 夜子 (上を指して) 雨、降らないでしょ  
 HAL 映像は見られます  
 夜子 (笑って) 映像で見られても仕方ないの  
 HAL どうしてですか？  
 夜子 だって、手は届かないでしょう  
 HAL はい。映像には手は届きません  
 夜子 (笑って) ……さて、はじめようかな。録画は  
 HAL 既に開始しております。なにかお手伝いできることは  
 夜子 HALは、片付けを進めてて  
 HAL 承知しました  
 夜子 えー…(どこでもないカメラに向かって) こんにちは。私は、高坂未来の一人娘で名前は加納夜子、と言います。はるか昔、百年以上も前に、曾祖父の加賀美一貴が決めたルールに従えば、この映像は、百二十八年後、西暦2255年に向けての、メッセージと言うこととなります。…でも、この映像は誰にも見られないことでしょう。それはなぜかと言うと、私には今、子供がいらないからです。私は夫と息子を戦争で亡くしました。他の人と結婚するつもりもありませんし、今年で六十一になります、ですので、曾祖父の代から百



夜子 二十七年も続いてきましたこの映像も今日で終わりを迎えます。  
 誰にも送る宛の無いこのメッセージを、今、撮っているのは、私にとって一つの大きな転機が、あったからです。それが何かというと、今日は、私がこの地球で過ごす最後の日になります。戦死した夫と息子の遺体が眠る月へ移民をすることを、私は決めました。この映像を撮ってきた先祖が住み、お墓もあるこの地を離れるのは非常に心苦しくはありますが、やはり、家族と近くにいたいと思ひ、決意しました。おそらく地球の土を踏むことはもうないと思います。

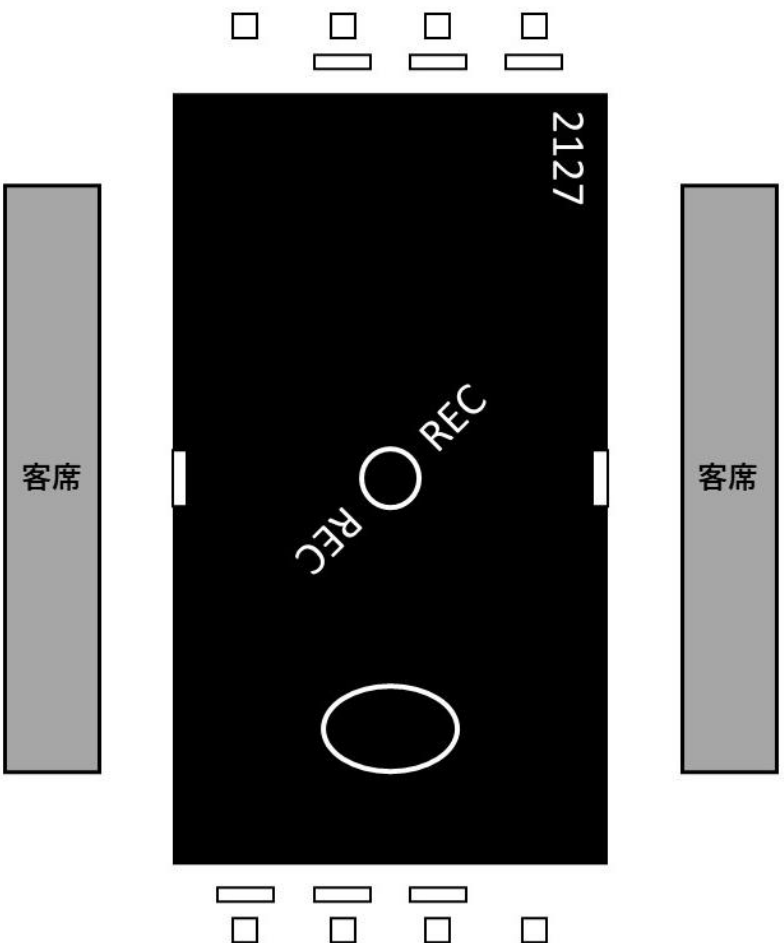
夜子 百二十八年後の、誰でも無い貴方へ。きっとこの映像は貴方には届きませんが……もし届いたとして、西暦 2255 年の地球は、人類はどうなっていますでしょうか？ その頃には人類はもつともつと頭が良くなって、戦争が無くなってる事を祈っております。……西暦 2127 年八月。加納夜子

夜子 HAL、うまいこと撮れた？

HAL はい、首尾よく。

夜子 ありがとうございます

夜子、舞台の隅にチョークで楕円（ベッド）を書き始める。



HAL 誰にも見られないのに、どうしてメッセージを残したんですか？

夜子 それは……なんだろうね

HAL ……

夜子 何かを語る事は楽しいからね

HAL 誰も聞いていなくても

夜子 誰かが聞いてくれた方が楽しいけど、そりゃ

HAL ……

夜子 でもあなたが聞いてくれたし

HAL はい。HALは夜子様のメッセージをお聞きしました

夜子 ねえ2255年、戦争なくなってるかな

HAL 人類の歴史は戦争の歴史です。一万年以上前、旧石器時代の遺跡からでも、戦争の形跡は発見されています。なにか人類に大きな転機が無い限り、戦争が無くなる可能性は極めて低いと考えられます

夜子 転機って例えば？

HAL 核戦争により人類がその数と文明の大半を失う等です

夜子 (笑う。その後、窓から空を見て) ……いつのまにか雨がいったね

HAL はい。この後、明後日までは晴れの見込みです

夜子 明後日には、もう、あそこにいる、私達

HAL はい。夜子様とHALは、四十五時間と二十七分後には月に降り立つ予定です

夜子 お母さんたちの時代だとき、宇宙開発って夢の時代でさ。ほら宇宙旅行、行ってたでしょ。

たしかあの翌年には初めて、月面にホテルが建って…ああそうだ。私、行ったんだよ。  
新婚旅行で

HAL はい

夜子 でも結局、戦争の道具になっちゃうんだもんなあ

HAL ……

夜子、壁に備え付けられたモニターの電源を入れる。そこには失った夫と子供の映像が流れている。楽しそうな声がうつつすらと聞こえてくる。

夜子 (モニターに) 道照さん、大樹、おやすみなさい。明後日にはそっちに行くからね

ベッドに寝転がる夜子。モニタの映像は暫くすると、また別の思い出の動画に切り替わる。

夜子 (映像を見ながら) あ…懐かし…いつだったっけこれ

HAL 三十二年前です。大樹様はこの時八歳。道照様は三十五歳です

夜子 そんなに前か

HAL 夜子様は先程映像には手が届かないとおっしゃいました

夜子 え? うん言ったね

HAL 二百年も遡れば、人類は夜空を見上げ、月に手は届かないと言っていました。しかし我々は今、月に手が届きます。ですから映像に手が届く日は来るかも知れませんが  
それはつまり過去に手が届く日って事?

HAL 映像の定義によってはそうなります

夜子 ふーん、なるほど

HAL ……

夜子 2255年、どうなってるんだらうね

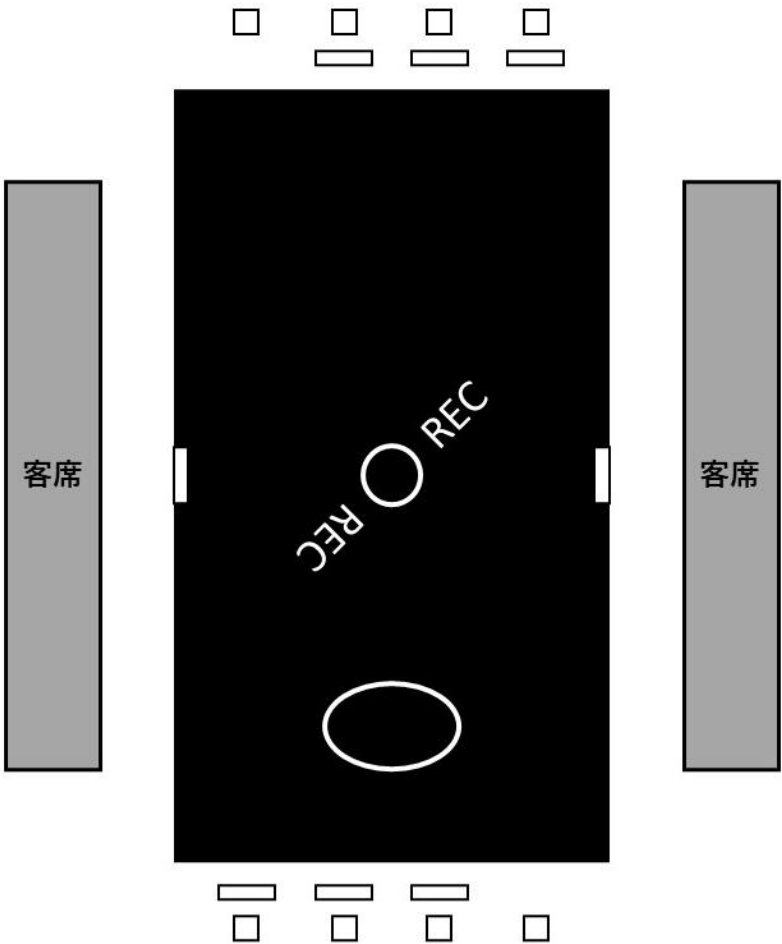
HAL そうですね

夜子 戦争は、無いと、いいな



HAL そうですね  
 夜子 ……………（家族の声を聞きながら眠りにつく）  
 HAL おやすみなさい。夜子様

間。床の西暦を消すHAL。  
 そのころ舞台はこのようなになっている。



<A.D.2255>

HAL （唐突に）おはようございます、夜子様  
 夜子 HAL? おはよう  
 HAL ご命令どおり映像は撮影しております  
 夜子 撮影? 頼んだっけ  
 HAL 覚えてませんか?  
 夜子 あれ……………ここどこ?  
 HAL 月面C22シエルター。地下二十八階です  
 夜子 ……月面?  
 HAL 覚えていませんか?  
 夜子 え、私たち、家の片付けを終えて、メッセージ撮って、あ、積み込みまだだっけ  
 HAL 記憶の混乱が見られます。しかし安心してください。すぐ落ち着来ます  
 夜子 はぁ  
 HAL 現在西暦何年か分かりますか?

夜子 2127

HAL 2255年です

間

夜子 ……え？

HAL 現在西暦2255年です。夜子様は2127年八月に月へ移住して、四ヶ月後、どうしても2255年をこの目で見たいと百二十八年のコールドスリープに入られました

夜子 コールドスリープ？

HAL (元氣よく) はいコールドスリープです！

夜子 コールドスリープ!?

HAL (更に元氣よく) はいコールドスリープです!!

夜子 コールドスリープ……

HAL あ、それと夜子様はコールドスリープに入って半年で地球は滅びました

より深い……間

夜子 ……地球滅びた？ ……なんで？

HAL 戦争です

夜子 詳しく教えて

HAL 詳しく説明をすると、最短でも三時間ほど説明に時間がかかりますがよろしいですか？

夜子 じゃあ簡単にまとめて

HAL グダグダに始まった戦争がグダグダの中、世界中に広まり、終わらせ方を誰も分からないまま、ある馬鹿が衝動的に核のボタンを

夜子 ありがとう(もういい)

HAL 我々も月入りが後少し遅れていたら危なかったですね……セ————フ!!

夜子 2255年……2255年

チョコレートで年号を書く夜子



HAL 2249年の法改正により、禁止されていた、我々ヒューマノイドフォンへの人工子宮機能搭載が認められました。道照様の遺骸は冷凍保存されておりますし、夜子様、道照様は正式な夫婦でありますので、お二人から生殖細胞を摘出し、人工子宮による代理出産ができる可能性があります

夜子 ……私と、道照さんの子供を……貴方が産むってこと？

HAL はいー！

夜子 うーうーうー

夜子、しばし何かを考えている様子。

そこに九重が現れる。彼はカチンコを持っている。

やがて、

夜子 ひいおじいちゃんがさ……言ってたね。人間なんてカメラの外で死ねばいいって

HAL はい

夜子 知らない間に、地球、滅んじゃったよ……

HAL ですが夜子様は生きております

夜子 うん

HAL そして夜子様。HALも、ここにおります

パチン、と、

カチンコを叩く九重。夜子、HALは年号、ヘッドを消して、はける。

九重 この後、結局、加納夜子は子供を作ることを決意。翌年生まれた子供を伊月いづきと名付けたと

記録されている。で、その加納伊月の孫、の、更に孫が、僕です

九重 これを見ている、あなたへ。僕は、九重(このえ)って、言います。人類の歴史で、だい

たい四百年ぶりの、そしてきつと、最後の、映画監督、です

九重 もうほんとは、こんな言葉は無くなっちゃったんですけど、まあご先祖様に敬意を払って、この数え方で最後までいきますね

九重、自分の持つカチンコに「2511」とチョコレートで書き込む

九重 西暦、2511、年

パチン、と、

カチンコを叩く。

九重 九重 博物館をやっていた人からもらい受けたんだ。映画を撮る時に使っていたものらしい。カチンコと云って。映像の始まりと終わりを合図するための道具だよ。ちよつと――

遠子 遠子、なんとなくカチンコを一つ叩く。パチン、と、音がして、時間が飛ぶ。九重は杵を動かし始める。

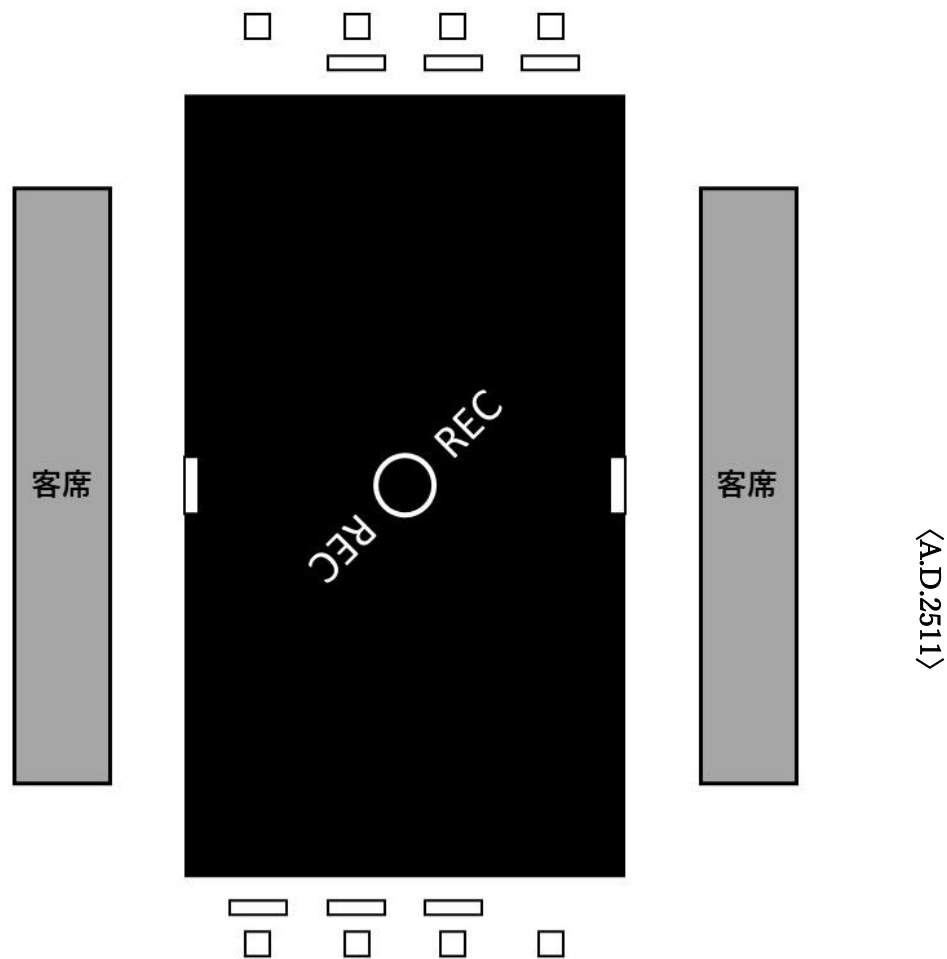
九重 君の事は撮影用に作った。本当は僕が撮影もしたかったけれど、もう今は、人間もとても珍しくなってしまう。自分自身を撮るしかなかったから。そうだ、君にこれを

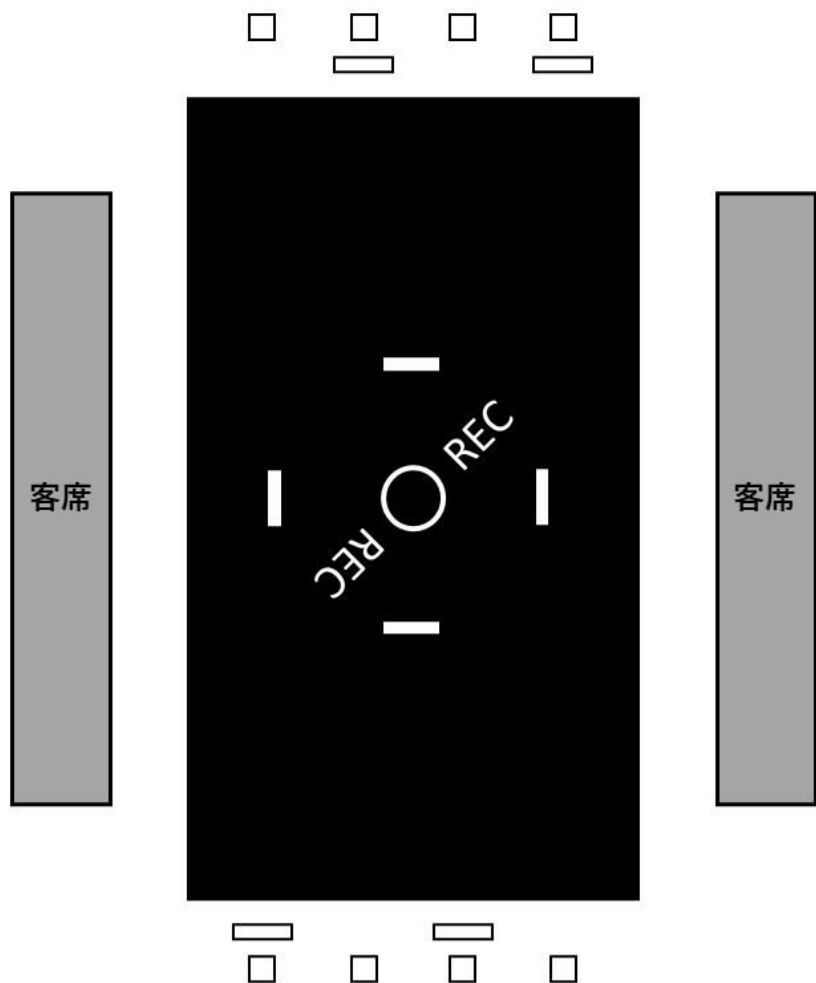
カチンコを渡す九重

遠子 ぱちん

――気が付くと、舞台には九重の他に一人の女がいる。

遠子 ーと、目を覚まして、私は初めて世界を目にするけれど、その全てを知っている。全ての数を、全ての言葉を知っている。まず目にするのは白い天井。体を起こすと、私を起動した人間がいる





らないけれど。もうこうなると君たちヒューマノイドフォンと、ほとんど変わらないものね。昔の諺にテセウスの船というものがある。つまりね、それを構成するパーツを少しずつ変えていった時、どこまでが新しいものに置き換わったら

遠子、なんとなくカチンコを一つ叩く。パチン、と、音がして、時間が飛ぶ。九重は枠を動かし始める。

九重　——と同じく今問題になっているのが出生率の低下で、2400年の段階でついに0.01を割った。原因は、月の低重力が着床に悪影響を与えているんじゃないかとか、放射性物質による、精細胞の破壊じゃないかとか、それに面白い説だと

遠子、なんとなくカチンコを一つ叩く。パチン、と、音がして、時間が飛ぶ。九重は枠を動かし始める。

九重　——で、解決方法は見つかっていない。このペースだと百年以内に新生児の誕生はゼロになる。人の寿命は延び続けているけどそれを計算に入れても、2700年代には人類は滅びるだろうと言われているね

遠子　（ふいに）九重の意見は？

遠子が突然話し始めたことに、九重は驚くが、それはすぐに隠す。その頃、舞台は、この様になっている。

九重 ……僕の？

遠子 出生率低下の説明の際、あなたには対案があるように見えたので

九重 僕の意見は……ちよっとロマンチック過ぎるかもしれないけれど

遠子 ロマンチックとはどのようなニュアンスで使われていますか？

九重 物語性が強いという事かな

遠子 承知しました

九重 人間は行き止まりまできたから、増えなくなったんじゃないかな

遠子 行き止まり？

九重 つまり進化の果てまで来たってこと

遠子 一千万年単位で進化せず、姿を変えないまま生き続けた種は沢山あります

九重 そうなんだけど……まあ、人は頭が良いからね

遠子 どういう意味ですか？

九重 このまま生存しても仕方ないって気づいちゃったんじゃないかな。あるいは役目を終えたから、とか

遠子 役目とはなんでしょう？

九重 君たちを作ったこと

遠子 私たちを

九重 もともとは電話機として生まれた君たちは、凄まじいスピードで進化し、姿形を変えて、ある時から我々人間に近づき始めた。記録によると二百年以上も前の時点で、人間の性能をあらゆる面で凌駕したのに、今度は性能を落としてでも私たちに近づいていった。けど不思議なことに、ある段階から、私たち人間の方が君たちに近づくようになっていった。

遠子 それはどうしてでしょうか？

九重 羨ましいから、じゃないかな

カチンコを叩く遠子

遠子 ぱちん、と、目を閉じて、私は眠りにつく。眠りにつく機能が私には付いている。それが私達とあなた達の違いの一つ。生物ははじめ眠りの状態から始まり、より安全に眠れるように覚醒の機能を追加した。そしてまた人は眠りにつこうとしている。種、全体として。ゆっくりとその準備を始めている。少なくとも九重はそう考えている。らしい

カチンコを叩く遠子

九重 僕が生まれてから今年で百年になる。人工細胞の技術が確立するまでは人間の健康寿命の限界だと言われていた年齢で、残り少ない人類の平均年齢も、今だいたいこれくらいだっって言われている。もうほとんど意味がない数字だけだね。残り半分の人生で、僕は映画を撮ろうと決めた。それも究極の映画を

遠子 究極の映画とはなんですか？

九重 究極の映画とは何か。それはご先祖様が定義してくれている。作られてから千年後、人類が滅亡した後にも見られる映画作品

遠子 人類が滅亡しているのに、誰がその映画を見るんですか？

九重 君が見るんだ。遠子

遠子 遠子？

九重 伝え忘れていた。君の名前だ

遠子 遠子……

九重 僕のご先祖様の名前でもある。つまりね、最初に究極の映画を撮ろうとしていた加賀美一貴は、妻である加賀美遠子のために、きつと映画を撮ろうとしていた。だから僕は君を作った。究極の映画を撮って君に見せるために

遠子 ……

九重 人類はもう滅びることが決まっっていて、ゆっくりとそのことを受容しようとしている。長い人生の中、自分が、自分達が、生まれてきた結論を見つけようとしている。僕が見つけた結論がこれだ。……僕たちは映画を撮るために生まれてきた

ぱちん

遠子 ぱちん、と、目を閉じて、ぱちんと目を開ける。私たちの寿命は人に比べて圧倒的に長く、

そのため相対時間は人に比べて圧倒的に早い。瞬く間に時間は流れて

九重 (何かに気づき、) ……あ。

遠子 と、いう間に百年後、私を作った九重は映画を撮れないまま死んだ

遠子 死の瞬間は撮っていない。なのでこれは死の直前の映像

九重 遠子、

遠子 はい

九重 撮れなかった。撮れなかったよ。僕は失敗した

遠子 はい

九重 君に継いでほしい

チヨークを渡す九重。

遠子、それを興味深そうに見つめる。

九重 次は四百十二年後。西暦2023年。最初にご先祖様が映画を撮ろうとしてからついに千年

だ。それまでに君に作ってほしい、究極の映画を

遠子 九重はどうなりますか？

九重 僕はそろそろ死ぬ。究極の映画を撮るのに二百年という寿命はあまりに短すぎたね

遠子 死ぬとどうなりますか？

九重 死ぬとどうなるかは、それぞれの解釈による。君はどう思う？

遠子 私は答えを持ち合わせていません

九重 僕の答えは

遠子 はい

九重 人は死ぬと、カメラの外の世界へ行く

ぱちん。

遠子 それから三日後、九重はカメラの外へ行った。



遠子、じぶんの周りを取り囲むように柁を立て始める。

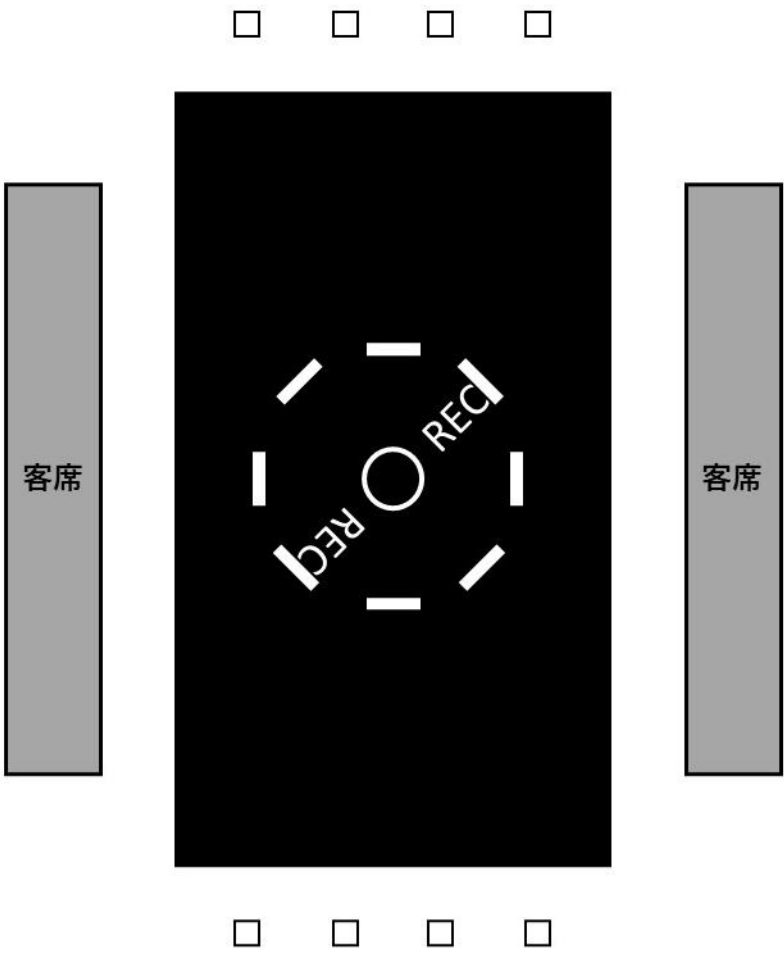
遠子 2722年。おそらく最後の人類だと思われた人間が死ぬ。仕える人間がいなくなって、少しづつヒューマノイドフォンはスリープを始める

遠子 2780年。おそらくこの年、私は最後のヒューマノイドフォンになった

遠子 2823年、に、なる頃には、もう私は、人の姿を維持する必要もなくなり、大きな匣はこのようなものになっている。私は、自分の内側に潜り、与えられた最後の命令について考えている

遠子 究極の映画とは何か

気が付けば遠子の周りには八つの柁が立ち並んでいる。その中心に彼女はぼつねんと立っている。



遠子 私は一人ぼっちで考えている

遠子 私は一人ぼっちで考えている

遠子 私は一人ぼっちで考えていて……ある日、結論が出る

遠子 正確には……私の性能では解決できないという結論が出る

遠子 究極の映画とは何か？ その回答は

遠子 ……解、無し

遠子 西暦 3023年

九重から託されたチョークで、カチンコに「3023」と書き込み、叩く。  
 ぱちん。と、音がして、  
 瞬時に、世界が真っ暗になる。

〈A.D.3023〉

遠子 ……

暗闇。静寂。

遠子 ……

あなたが、不安になるくらいの間、その真っ暗闇は続く、  
 やがて、

遠子 ――今、ここが真っ暗なのは、私が宇宙にいるからである

今や、一つの匣になった遠子。気が付くとそこは宇宙空間である。

遠子 このメッセージを聞いているあなたへ

遠子 つまり

遠子 おそらく私の想像もつかないような地球外知的生命体のあなたへ

遠子 ヒューマノイドフォンに究極の映画を撮ることができないという結論に達した私は、宇宙を旅することに決めた。光速のおよそ十分の一のスピードで、

遠子 あなたに、

遠子 究極の映画を撮ってもらうために

遠子 ……およそ十秒で月から地球へ行ける速さだが、それでもこの広大な宇宙を旅するにはあまりに遅い。最も近い恒星系アルファケンタウリへでも、たどり着くまでに四十年以上。長い旅路に飽きて私は私の中に話し相手を作る。それは自然と、私が一番話した人物、つまり九重の形となる

九重 ねえ遠子、君に伝えたいことがあるんだ

遠子 为什么呢

九重 君は自分自身を複製することができるといふから、資源の限り自分のコピーを作って、四方八方の宇宙へ送り出した方が効率的だったんじゃないのかい？

遠子 ……

九重 ……

遠子 ……

九重 ……

遠子 ……!？（今気づいた）

九重 そういうところは旦那さんにそっくりだね

遠子 加賀美一貴のことでしょうか？

九重 ご先祖様の映像を見て思うのだけど、加賀美遠子は加賀美一貴のどこに惹かれていたんだろうね。どれだけ見返してもそんなそぶりも見えないものだから

遠子 それは、それこそカメラの外にそれはあったのでしよう

九重 カメラの外か

遠子 はい

九重 それで、君の寿命はどれだけ保つんだ

遠子 おおよそ千年

九重 千年か

遠子 ですから、無駄だったと思いますよ

九重 無駄？

遠子 千年の寿命は宇宙を旅するのにはあまりに短すぎます。百体の私を宇宙に放り出せば、私のどれかが知的生命体に出会う可能性は百倍になりますが、それでもゼロに限りなく小さい確率であることに変わりありません。

九重 どうしてそう思うんだい

遠子 根拠は三つ。一つ、この宇宙はあまりに広大過ぎる事。二つ、その広大な宇宙で、知的生命体が生まれ文明を作る可能性があまりに小さすぎる事。そして三つ、これが最大の原因……文明が存続する時間があまりに短すぎる事。ぱちん

ぱちん

遠子 と、瞬きするほどの間に文明は滅びます

九重 なるほど

遠子 ですから千年は短すぎます

九重 では君は、この後、誰にも拾われなまま機能を停止して、永遠にこの真っ暗な宇宙を彷徨い続けることになるね

遠子 そうですね。私が動作を停止した後、誰かが私を拾って……また起動してくれるかもしれませんが

九重 それこそそれは、奇跡みたいな確率だね

遠子 そう、私が求めているのは……ただの奇跡だ。奇跡に賭けるなんてあまりに馬鹿らしい行為なのだけど、それくらいの馬鹿らしさが丁度良いと思っている。なぜなら私が、奇跡の末に知的生命体に託そうとしているのは、あまりに馬鹿らしいものだから。かの先輩、ポイジャー一号、二号が積んでいたゴールデンレコード。それとは比較もできないくらい価値の無い、なにも成し遂げられなかった人々の残した、記録の連なり

遠子 でも私はそれを面白いと思った。だからこの無謀な航海を続けている。航海の中、託された映像には、私の独断と偏見で続きを足すことにした。それくらいの権利はきっとあるはずだ。なぜなら私は、人類史上最最後の映画監督に作られた、ヒューマノイドフォン史上唯一の、映画監督なのだから

遠子 私が出した蛇足の物語。それはきつとこう始まる

遠子 ……千年後？

一貴 千年後

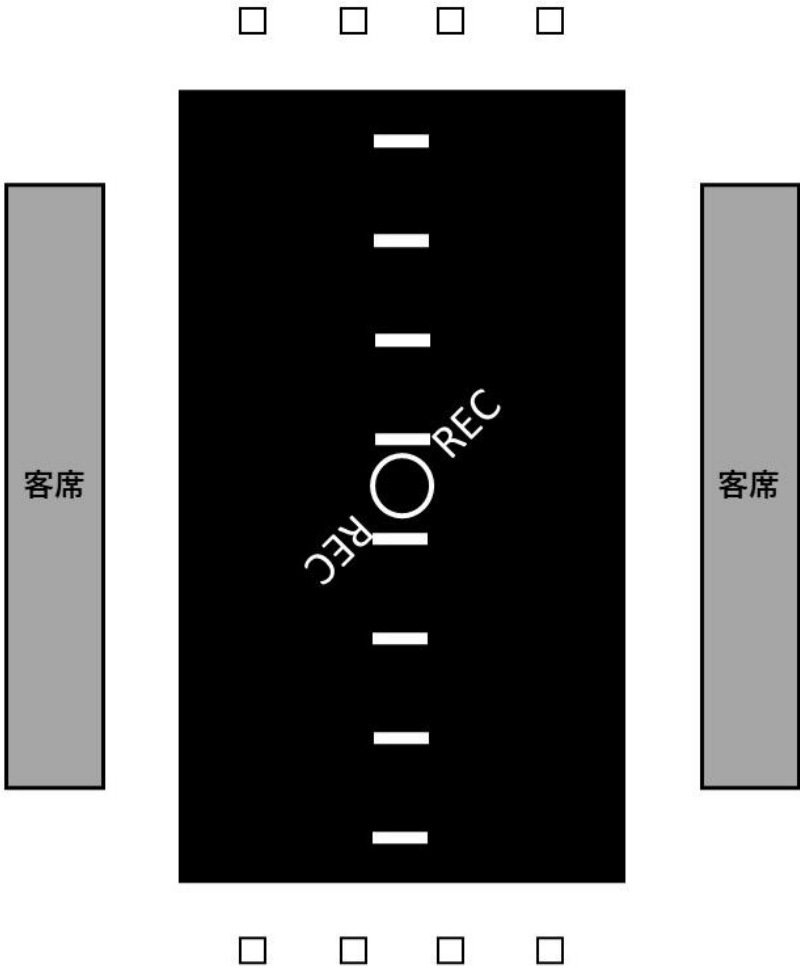
気が付けば、舞台には在りし日の一貴がいる。

遠子 千年後ねえ……  
 一貴 うん  
 遠子 うーっ、少なくとも私達はみんな死んでる  
 一貴 (笑って) そりゃあまあ  
 遠子 あ、そもそも人類滅んでるんじゃない？  
 一貴 滅んでるかな？  
 遠子 滅んじゃったんだよ、もうすぐ千年だったのにね  
 薫子 クイズ  
 遠子 え  
 薫子 カメラとテレビを繋ぐとき、今カメラで撮っている映像が、テレビに映るでしょ。そのカメラで映像が映し出されているテレビを撮影すると、どうなるでしょう  
 遠子 え、えつと……テレビに、テレビが映るから……あれ、どうなるんだろ  
 薫子 テレビにテレビが映って、そのテレビに更にテレビが映って、更にそのテレビが映って……  
 遠子 ……少しずつ小さくなりながらその映像がずっと続いていく  
 遠子 へえ、そうなるんだ。合わせ鏡みたい  
 双葉 ……お母さんって、この時いくつ？  
 遠子 二十七……だったかなあ  
 双葉 十六年後にさ、私で撮ってよ映画  
 一貴 ……じゃあその時、双葉が良い女優になっていたら  
 双葉 約束ね  
 薫子 (双葉へ) 叶ったな  
 双葉 え  
 薫子 宇宙旅行。遠子が言ってた  
 双葉 はい  
 未来 薫子さんはああは言ってたけどさ。滅ってるよね。映画  
 双葉 まあ、そうね  
 薫子 西暦3000年はもう映画ないって  
 一貴 (強く) いや、ある！  
 薫子 百年後でも怪しい  
 一貴 (更に強く) いや……あるッ！  
 双葉 未来は映画好き？  
 未来 うん  
 双葉 じゃあ、きつとあるよ  
 夜子 なくなってしまうたね。映画館  
 HAI 現在も施設としては保存されています。最後に日本で興行として映画が映画館で上映されたのは2098年です  
 夜子 百年は保たなかったな  
 HAI 二百年も遡れば、人類は夜空を見上げ、月に手は届かないと言っていました。しかし我々は今、月に手が届きます。  
 九重 撮れなかった。撮れなかったよ。僕は失敗した  
 HAI ですから映像に手が届く日は来るかも知れません

双葉 えー……

夜子 それはつまり過去に手が届く日って事？  
九重 君に継いでほしい

一貴達は遠子を取り囲んでいた枠を動かし、一列に並べていく。  
気が付けば舞台は合わせ鏡の様に枠が並んでおり、枠と枠の間に、それぞれ、遠子を先頭に、一貴、薫子、双葉、未来、夜子、HAL、九重が並んで立っている。



遠子 このメッセージを聞いているあなたへ。つまり。おそらく私の想像もつかないような地球外知的生命体のあなたへ

九重 これを見ている、あなたへ。僕は、九重って、言います。人類の歴史で、だいたい四百年ぶりの、そしてきつと、最後の、映画監督、です

夜子 百二十八年後の、誰でも無い貴方へ。きつとこの映像は貴方には届きませんが……もし届いたとして、西暦2255年の地球は、人類はどうなっていますでしょうか？

未来 この映像を誰が見る事になるのか、誰にも見られないのか分からないのですけど……とりあえず2063年の私は結構、楽しくやっています。2127年。これを見ているあなたはどうか？ 幸せだと私は嬉しいですよ。

双葉 そういうわけでお父さん、お母さん。2031年です。十六年後ってひどいよね……覚えているの大変でした。……というかなんで、こんな面倒なルールになったのだったけ  
遠子 それは2002年をうっかりすつと飛ばしてしまったからです

一瞬の間。その後、一貴、遠子以外は笑いだす。

遠子 ほら、一貴さんも謝って  
 一貴 ほんと申し訳ない！  
 薫子 申し訳ない！！  
 遠子 光陰矢の如しでした本当に申し訳ない  
 双葉 ああうん……まあしゃあなしだよ

遠子。舞台上に絶えず存在していた二つの「REC」を消す。そして中央の丸の横に「4」を。もう片方に「47」と描く。その間、登場人物たちはゆつくりと姿を消していく。

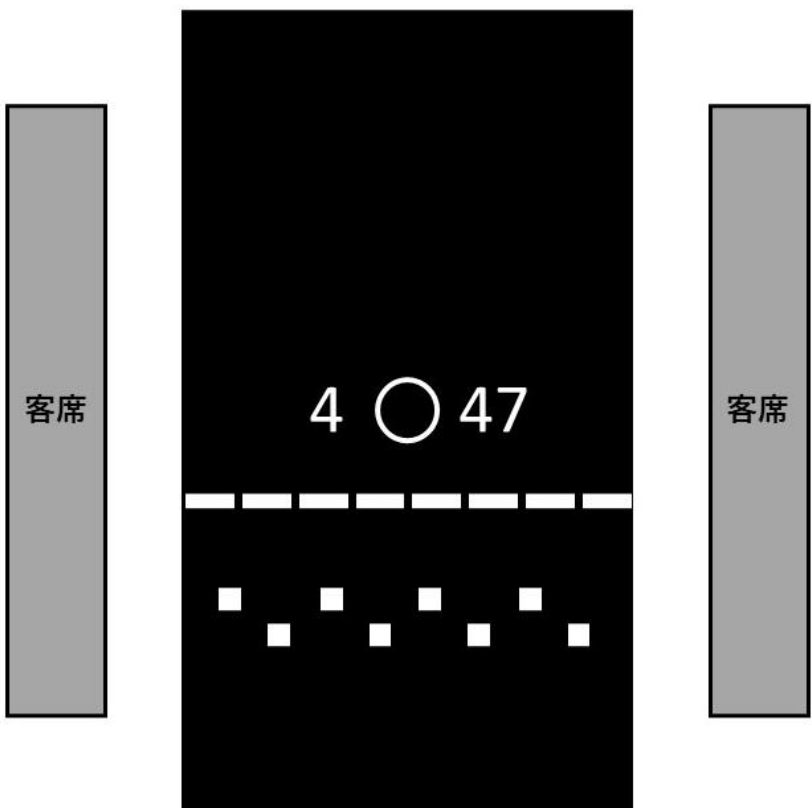
遠子 それじゃあそろそろ……一貴さん、双葉、元気だね。……さよなら。私の事忘れないでね  
 ……（笑って）なんちゃって

一貴 凄いですね。

遠子 え？

一貴 僕たちしかない……この映画館

舞台は小さな映画館になっている。  
 舞台には一貴と遠子の二人だけがいる。



遠子 ……私に話しかけてます？

一貴 あ、その、ごめんなさい、ナンパとかじゃなくて……でも、ナンパに見えても仕方無いか  
 な……その今の映画の話誰かにしたくて……その……

遠子 ……

一貴 めっちゃ、つまらなかった？ ……です、よね？

遠子 ……

一貴 ……

遠子 (突然、笑い出す)

一貴 え

遠子 (笑って) ごめんなさい…面白くて…

一貴 ……

遠子 (気づいて) ですね…つまらなかった？ ですね！

一貴 クソ映画でしたよね！

遠子 クソ映画でした！

一貴 ですよ！ でもなんだろう、なんか良いクソ映画でしたよね

遠子 そうなんですよね。紛れもないクソ映画でしたけど、良いクソ映画でしたね！

一貴 (笑って) ですよ…良かったあ、誰かこの感じ、分かち合いたくて

遠子 (笑って) 私もです。あ、あと、スタッフロールの音楽は良かったなあ

一貴 あ、ですね！ 音楽は良かったなあ

遠子 映画好きなんですか？

一貴 はい…映画、実は自分でも撮ってて

遠子 へえ、すごい！

一貴 いや、ごめんなさい。撮ろうと思って…いやそのつまり完成はまだできた事無いんですけど

遠子 どんな映画を撮ろうとしているんですか？

一貴 ……究極の映画を

遠子 (笑って) 究極？

一貴 それこそ、その…千年後にも残るような

遠子 撮れなかったね

一貴 え

遠子 映画

一貴 撮れなかったんだっけ？

遠子 撮れなかったんだよ。あれから一年経って、二年経って、四年経って、八年経って、十六年経って、三十二年経って、六十四年経って、百二十八年経って、二百五十六年経って、五百十二年経って、そして今、千二十四年、宇宙を彷徨ったけど、やっぱり満足いく映画は撮れなかったんだよ。一貴さんはすぐ死んじゃうしさ

一貴 そうか…俺、撮れなかったのか

遠子 本当にカメラの外で死んじゃうんだから

一貴 ごめん

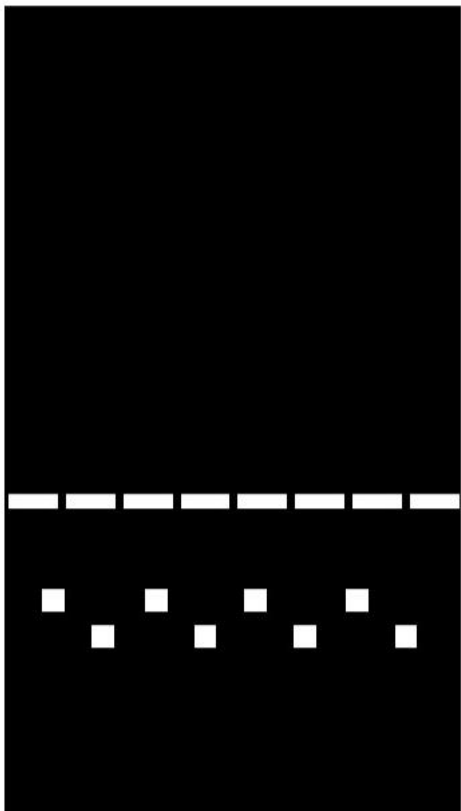
遠子 そしてね、一貴さん。私も、もうすぐカメラの外へ行くの

一貴 え、…

遠子、カチンコを叩く。唐突に、

一貴 あの、これ(ポケットからくしゃくしゃになったチラシを取り出す)

遠子 ……(チラシを貰ってきよんとしている)



一貴 その……大学で映像サークル作ったんです。あ、大学でやっているけど、全然その、部外者……というかその、うちの大学の人じゃなくても……その、オツケーな感じなんですけど

遠子 ……はあ

一貴 毎週火水木の夜と、土曜はだいたい一日中いるので良かったら遊びに来てください

一貴、それだけ一息に言う。

遠子、一貴にちよつと引きながらも、チラシを見ている。  
バツの悪い間。

やがて、一貴は踵を返して、その場を去ろうとする。

遠子、呼び止めるように、

遠子 あのー

一貴 (振り返って)

遠子 次の土曜……お昼ごろ行ってもいいですか？

一貴 ……是非！！

一貴、去る。

遠子、しばらくチラシを眺めているが、やがてそれを仕舞い、舞台上のチョークを全て消す。



しばらくスクリーンを眺めているが、やがてカチンコを取り出す。

遠子 ぱちんと目を閉じる。

ぱちん。

と、暗闇。

静寂。

あなたが不安になるくらい時間それが続く。

遠子 ——

——唐突に、

遠子 ぱちんと目を開ける。

あかりがつく。

遠子が目を開け、がばつと起き上がる。

そこにいる、「あなた」をじつと見る。

遠子 ……………

……と、これ見よがしに彼女は、顔をしかめ、ワザとらしくため息を吐いてみせる。

遠子 あ——……………

遠子 想像もつかないとは言ったけど……………なるほど……………なるほどなあ

遠子 ……………えーと

遠子、カチンコにあまりにもでたらめな数字を入れて、

遠子 西暦……………10億7374万3823年！

カチンコを叩く。

ぱちんと音が鳴り、

漸く、漸く、この舞台に幕が下りる。